

第5期 豊島区子ども・子育て会議（第4回）次第

日時：令和5年9月6日（水）

午後6時～

会場：レクチャールーム

（808・809 会議室）

1 開 会

2 議 事

- (1) 子ども子育て支援事業計画令和4年度実施状況について 資料2
- (2) 「豊島区子ども・子育て支援事業計画」改定に係る区民の実態・意識に関する調査項目の検討について 資料3、4
- (3) としま子どもの権利相談室の開設について（報告） 資料5

3 閉会

【資 料】

- 資料1 豊島区子ども・子育て会議委員名簿（第5期）
- 資料2 豊島区子ども・子育て支援事業計画 令和4年度実施状況
- 資料3-1 豊島区子ども・若者総合計画の改定について
- 資料3-2 豊島区子ども・若者総合計画改定スケジュール（案）
- 資料4-1 就学前児童保護者_豊島区子どもの実態・意識に関する調査
- 資料4-2 小学生保護者_豊島区子どもの実態・意識に関する調査
- 資料5 としま子どもの権利相談室の開設について（報告）

資料1-1	令和5年9月6日
	第4回子ども・子育て会議

豊島区子ども・子育て会議委員名簿（第5期）

選出区分	氏名	所属	備考
学識経験者	塩谷 香	大学関係等（國學院大學教授）	
	島田 由紀子	大学関係等（國學院大學教授）	
	五十嵐 元子	大学関係等（白梅学園大学准教授）	
子育て事業者 及び従事者	高橋 朗子	私立幼稚園連合会（学習院幼稚園園長）	
	池田 由美	私立保育園園長会（愛の家保育園園長）	
	花房 健	子育て事業従事者 （アンソレイユ保育園園長）	
子育て事業利用者	山口 賀映	公募委員	
	水越 朋美	公募委員	
	郡司 佳映里	公募委員	
区立小学校校長	田中 明	小学校校長会（高南小学校校長）	新任
小学校PTA連合会	戸井田 周一	小学校PTA連合会	新任

期間：令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年間）

区関係理事者名簿

	職 名	氏 名	備 考
1	子ども家庭部長	副 島 由 理	
2	教育委員会事務局教育部長	澤 田 健	
3	子ども家庭部子ども若者課長	小 野 義 夫	
4	子ども家庭部子育て支援課長	安 達 絵美子	
5	子ども家庭部子ども家庭支援センター長	山 本 りか	
6	子ども家庭部保育課	渡 邊 明日香	
7	子ども家庭部保育政策担当課長	長 澤 義 彦	
8	子ども家庭部保育支援担当課長	今 村 宏 美	
9	保健福祉部健康推進課長	坂 本 利 美	
10	教育委員会教育施策推進担当課長心得	後 閑 啓 太	
11	教育委員会事務局放課後対策課長	秋 山 直 樹	

資料2	令和5年9月6日
	第4回子ども・子育て会議

豊島区子ども・子育て支援事業計画

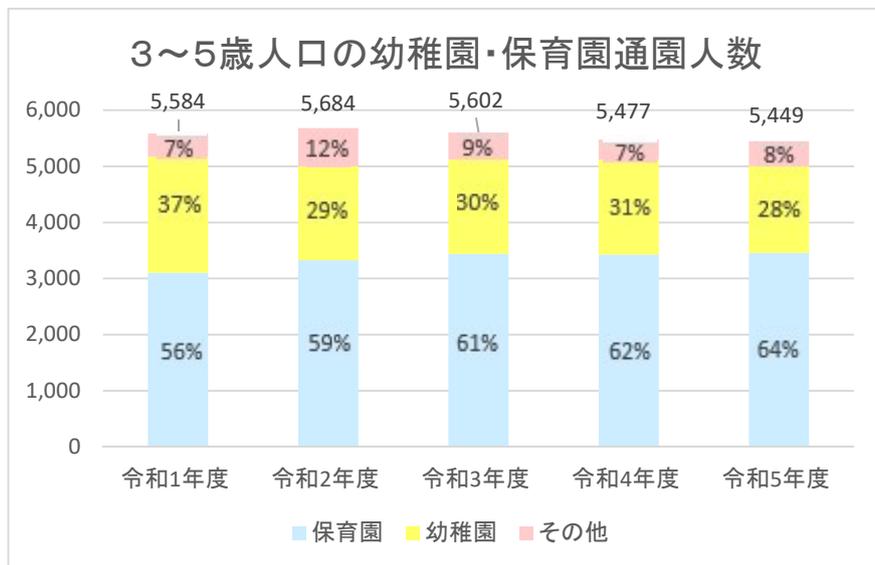
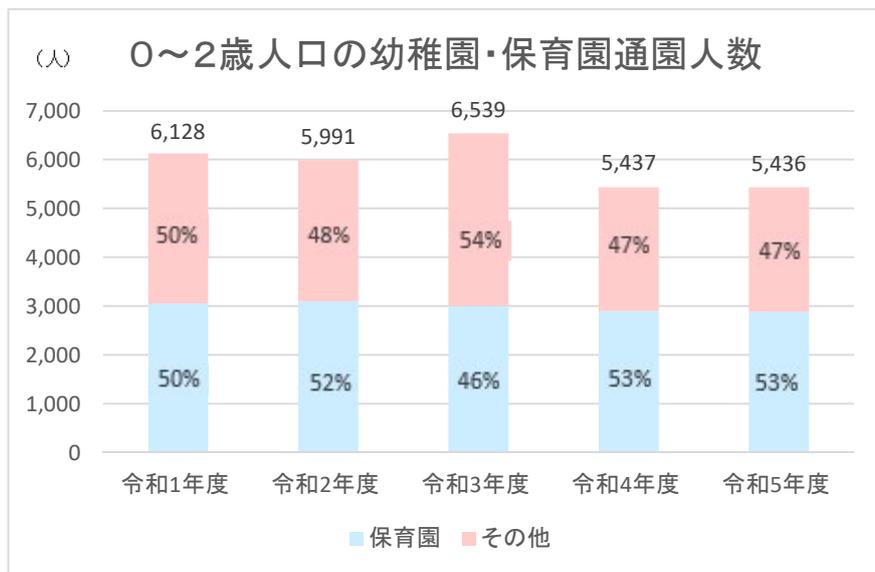
令和4年度実施状況

令和5年9月

豊 島 区

0～5歳児人口の幼稚園・保育園通園人数の推移

区における0～2歳児人口のうち、区内保育園通園児はコロナ前に50%、最もコロナの影響が多かった令和3年度は46%へ低下しましたが、令和5年度は53%まで上昇しております。3～5歳児は、保育園通園児は56～63%へ推移しており、保育園への通園割合が増加傾向にあります。また、0～5歳において、その他の中には、他区の幼稚園、保育園に通っている園児が含まれます。



※人口、保育園在園児数は各年4月1日現在。幼稚園在園児数は各年5月1日現在。

● 保育園在園児数

※特定教育・保育施設（認定こども園の幼稚園機能部分及び幼稚園を除く）と特定地域型保育事業の利用児童数

● 幼稚園在園児数

※区立幼稚園と区内私立幼稚園（区内・区外在住）の園児数

1. 教育・保育給付

1. 満3歳以上で幼稚園及び認定こども園を利用(1号認定)
(2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強い方を含む)

単位: 人

区 全 域	令和2年度 実績		令和3年度 実績		令和4年度 実績		令和5年度		令和6年度		
	1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望	
①需要量	1,575 (1,970)	362 (453)	1,547 (1,999)	340 (460)	1,547 (1,996)	310 (459)	(1,531)	(340)	(1,531)	(340)	
② 確 保 の 内 容	特定教育・保育施設	315 (315)	315 (315)	315 (315)	315 (315)	315 (315)	(315)	(315)	(315)	(315)	
	確認を受けない幼稚園*	1,293 (1,744)	1,293 (1,744)	1,293 (1,744)	1,293 (1,744)	1,293 (1,744)	(1,744)	(1,744)	(1,744)	(1,744)	
	幼稚園及び長時間・通年の 預かり保育(再掲)	0 -	453 (453)	0 -	453 (460)	0 -	453 (459)	-	(465)	-	(465)
	他区市町村の幼稚園・ 認定こども園	329 (364)	329 (400)	329 (400)	329 (400)	329 (396)	329 (396)	(429)	(429)	(429)	(429)
	計	1,937 (2,423)	1,937 (2,459)	1,937 (2,459)	1,937 (2,459)	1,937 (2,455)	1,937 (2,455)	(2,488)	(2,488)	(2,488)	(2,488)
過不足②-①	0		50		80						
③達成率 : 確保方策(実績/計画)	79.9%		78.8%		78.9%						
④待機児童数	4月1日: -人		4月1日: -人		4月1日: -人						

※特定教育・保育施設・・・区立幼稚園、私立認定こども園
確認を受けない幼稚園・・・新制度に移行していない私立幼稚園

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

子育て世帯の増加により、子どもの数も増えてきている。しかし、保育園への入園数が伸びているため、幼稚園・認定こども園の利用者が減少している。

現在、区立幼稚園・区内私立幼稚園の設置計画及び定員増の見直しの予定がないため、確保方策は横ばいのまま推移する。引き続き、他区市町村と連携・協力していく。

令和4年度事業実施状況

区内施設	施設数	定員	R4.5.1現在
			在籍児童数(管内児)
区立幼稚園	3	180	70
私立幼稚園	15	1,824	861
認定こども園	1	60	42
他の区市町村	-	-	900

提供区域別の状況

東部地域		令和2年度実績		令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度		令和6年度	
		1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望
①需要量		729 (1,105)	167 (249)	698 (1,115)	155 (251)	698 (1,108)	161 (249)	(691)	(155)	(691)	(155)
②確保方策	特定教育・保育施設	60 (60)		60 (60)		60 (60)		(60)		(60)	
	確認を受けない幼稚園*	649 (943)		649 (943)		649 (943)		(943)		(943)	
	幼稚園及び長時間・通年の預かり保育(再掲)	0 -	249 (249)	0 -	249 (251)	-	249 (249)	-	(249)	-	(245)
	他区市町村の幼稚園・認定こども園	187 (351)		187 (363)		187 (354)		(355)		(331)	
	計	896 (1,354)		896 (1,366)		896 (1,357)		(1,358)		(1,334)	
過不足②- ①		0		43		37					
③達成率 : 確保方策(実績/計画)		66.2%		65.6%		66.0%					
④待機児童数		4月1日: -人		4月1日: -人		4月1日: -人					

西部地域		令和2年度実績		令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度		令和6年度	
		1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望	1号	2号 教育希望
①需要量		846 (865)	195 (204)	849 (884)	185 (209)	849 (888)	149 (210)	(840)	(185)	(840)	(185)
②確保方策	特定教育・保育施設	255 (255)		255 (255)		(255) (255)		(255)		(255)	
	確認を受けない幼稚園*	644 (801)		644 (801)		644 (801)		(801)		(801)	
	幼稚園及び長時間・通年の預かり保育(再掲)	0 -	204 (204)	0 -	204 (209)	-	204 (210)	-	(216)	-	(220)
	他区市町村の幼稚園・認定こども園	142 (13)		142 (37)		(142) (42)		(74)		(98)	
	計	1,041 (1,069)		1,041 (1,093)		1,041 (1,098)		(1,130)		(1,154)	
過不足②- ①		0		7		43					
③達成率 : 確保方策(実績/計画)		97.4%		95.2%		94.8%					
④待機児童数		4月1日: -人		4月1日: -人		4月1日: -人					

2. 満3歳以上で保育所及び認定こども園を利用(2号認定)

単位：人

区全域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量		3,304 (3,147)	3,422 (3,193)	3,425 (3,187)	(3,493)	(3,492)
② 確保 方 策	特定教育・保育施設	3,393 (3,525)	3,617 (3,723)	3,740 (3,921)	(4,119)	(4,317)
	企業主導型保育施設	16 (11)	4 (11)	5 (11)	(11)	(11)
	認可外保育施設	313 (270)	272 (270)	328 (270)	(270)	(270)
	計	3,722 (3,806)	3,893 (4,004)	4,073 (4,202)	(4,400)	(4,598)
過不足② - ①		418	471	648		
③整備計画		認可保育所 新設6施設 東部4施設(100人) 西部2施設(38人) 定員変更 東部71人 西部55人 認可外保育施設 確認 東部185人 西部17人	認可保育所 新設6園 東部3施設(99人) 西部3施設(99人)	認可保育所 新設4園 東部3施設 (71人) 西部1施設 (0人)※ ※民営化によるもの	認可保育所 新設2園 東部1施設 (0人)※ 西部1施設 (32人) ※民営化によるもの	認可保育所 新設0園 (0人)
④達成率：確保方策(実績/計画)		97.8%	97.2%	96.9%		
⑤待機児童数		4月1日：-人	4月1日：0人	4月1日：0人		

※特定教育・保育施設・・・認可保育所、認定こども園
認可外保育施設・・・認証保育所、臨時保育所

()内は計画の数字

令和4年度確保の内容

- ・ 認可保育施設の定員数の増減： 123名
(うち、新規開設による定員の増加数117名)
- ・ 企業主導型保育施設の定員数の増減： 1名
- ・ 認可外保育施設の定員： 56名

令和4年度の実施状況と今後の展開

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う対応のため、施設整備数を当初の計画より減らしたものの、新規施設整備により、需要に対して十分な枠を確保できている。新型コロナウイルス感染症の影響が見通せない中でも引き続き、待機児童ゼロを維持すべく、保育需要の伸びに応じた受け皿の確保を行っていく。

提供区域別の状況

東部地域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量		1,713 (1,715)	1,783 (1,730)	1,813 (1,717)	(1,861)	(1,828)
② 確保 方 策	特定教育・保育施設	1,721 (1,830)	1,876 (1,929)	1,989 (2,028)	(2,127)	(2,226)
	企業主導型保育施設	4 (8)	4 (8)	5 (8)	(8)	(8)
	認可外保育施設	259 (212)	243 (212)	269 (212)	(212)	(212)
	計	1,984 (2,050)	2,123 (2,149)	2,263 (2,248)	2,347	2,446
過不足②－①		271	340	450		
③達成率：確保方策(実績/計画)		96.8%	98.8%	100.7%		
④待機児童数		4月1日：0人	4月1日：0人	4月1日：0人		

西部地域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量		1,591 (1,432)	1,639 (1,463)	1,612 (1,470)	(1,632)	(1,664)
② 確保 方 策	特定教育・保育施設	1,672 (1,695)	1,741 (1,794)	1,751 (1,893)	(1,992)	(2,091)
	企業主導型保育施設	12 (3)	0 (3)	0 (3)	(3)	(3)
	認可外保育施設	54 (58)	29 (58)	59 (58)	(58)	(58)
	計	1,738 (1,756)	1,770 (1,855)	1,810 (1,954)	(2,053)	(2,152)
過不足②－①		147	131	198		
③達成率：確保方策(実績/計画)		99.0%	95.4%	92.6%		
④待機児童数		4月1日：0人	4月1日：0人	4月1日：0人		

3. 満3歳未満で保育所、認定こども園及び地域型保育を利用(3号認定)

単位：人

区全域	令和2年度実績		令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度		令和6年度	
	1～2歳	0歳	1～2歳	0歳	1～2歳	0歳	1～2歳	0歳	1～2歳	0歳
①需要量	2,621 (2,925)	569 (656)	2,468 (2,926)	514 (656)	2,385 (2,981)	468 (656)				
②確保方策	特定教育・保育施設	2,282 (2,296)	671 (676)	2,344 (2,422)	670 (712)	2,404 (2,548)	660 (748)			
	地域型保育事業	277 (274)	49 (78)	257 (274)	52 (78)	208 (274)	47 (78)			
	企業主導型保育施設	82 (89)	19 (30)	147 (89)	51 (30)	134 (89)	43 (30)			
	認可外保育施設	312 (305)	95 (52)	303 (305)	83 (52)	321 (305)	92 (52)			
	計	2,953 (2,964)	834 (836)	3,051 (3,090)	856 (872)	3,067 (3,216)	842 (908)			
過不足② - ①	332	265	583	342	682	374				
③整備計画	認可保育所 新設6施設 東部4施設(103人) 西部2施設(42人) 定員変更 東部△1人／西部4人 小規模定員変更 東部37人／西部△23人 家庭的保育1施設減 西部△2人 認可外保育施設確認 東部139人／西部18人		認可保育所 新設6園 東部3施設(81人) 西部3施設(81人)		認可保育所 新設4園 東部3施設 (73人) 西部1施設 (▲2人)※ ※民営化によるもの		認可保育所 新設2園 東部1施設 (▲6人)※ 西部1施設 (27人) ※民営化によるもの		認可保育所 新設0園 (0人)	
④達成率：確保方策 (実績/計画)	99.6%	99.8%	98.7%	98.2%	95.4%	92.7%				
⑤待機児童数	4月1日：0人		4月1日：0人		4月1日：0人					

令和4年度確保の内容

- ・認可保育所の定員数の増減： 50名(うち、新規開設による定員の増加数73名)
- ・地域型保育事業の定員数の増減： ▲54名
- ・企業主導型保育施設の定員数の増減： ▲21名
- ・認可外保育施設の定員数の増減： 27名

令和4年度の実施状況と今後の展開

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う対応のため、施設整備数を当初の計画より減らしたものの、新規施設整備により概ね目標通りの受け皿が確保できている。新型コロナウイルス感染症の影響が見通せない中でも引き続き、待機児童ゼロを維持すべく、保育需要の伸びに応じた受け皿の確保を行っていく。

令和4年度事業実施状況

R5.3月現在

	区内施設	施設数	定員	在籍児童数(管内児)
特定教育・保育施設	認可保育所	90	3,066	2,906
	認定こども園	0	0	0
特定地域型保育事業	小規模保育	21	249	202
	家庭の保育	2	8	7
	居宅訪問型保育	4	23	15
	事業所内保育	0	0	0
認可外保育施設	認証保育所	6	129	101
	臨時保育所	1	24	7

東部地域		令和2年度実績		令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度		令和6年度	
		1～2歳	0歳	1～2歳	0歳	1～2歳	0歳	1～2歳	0歳	1～2歳	0歳
①需要量		1,363 (1,574)	308 (338)	1,270 (1,534)	284 (337)	1,270 (1,546)	236 (337)	(1,294)	(259)	(1,296)	(259)
②確保方策	特定教育・保育施設	1,158 (1,163)	351 (356)	1,219 (1,226)	350 (374)	1,278 (1,289)	343 (392)	(1,352)	(410)	(1,415)	(428)
	地域型保育事業	136 (142)	19 (37)	131 (142)	26 (37)	106 (142)	27 (37)	(142)	(37)	(142)	(37)
	企業主導型保育施設	54 (44)	15 (16)	74 (44)	28 (16)	69 (44)	20 (16)	(44)	(16)	(44)	(16)
	認可外保育施設	247 (227)	78 (32)	221 (227)	66 (32)	232 (227)	68 (32)	(227)	(32)	(227)	(32)
	計	1,595 1,576	463 (441)	1,645 (1,639)	470 (459)	1,685 (1,702)	458 (477)	(1,765)	(495)	(1,828)	(513)
過不足②－①		232	155	375	186	415	222				
③達成率：確保方策 (実績/計画)		101.2%	105.0%	100.4%	102.4%	99.0%	96.0%				
④待機児童数		4月1日： 0人	4月1日： 0人	4月1日： 0人	4月1日： 0人	4月1日： 0人	4月1日： 0人				

西部地域		令和2年度実績		令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度		令和6年度	
		1～2歳	0歳	1～2歳	0歳	1～2歳	0歳	1～2歳	0歳	1～2歳	0歳
①需要量		1,258 (1,351)	261 (318)	1,198 (1,392)	230 (319)	1,115 (1,435)	232 (319)	(1,199)	(245)	(1,201)	(245)
②確保方策	特定教育・保育施設	1,124 (1,133)	320 (320)	1,125 (1,196)	320 (338)	1,126 (1,259)	317 (356)	(1,322)	(374)	(1,385)	(392)
	地域型保育事業	141 (132)	30 (41)	126 (132)	26 (41)	102 (132)	20 (41)	(132)	(41)	(132)	(41)
	企業主導型保育施設	28 (45)	4 (14)	73 (45)	23 (14)	65 (45)	23 (14)	(45)	(14)	(45)	(14)
	認可外保育施設	65 (78)	17 (20)	82 (78)	17 (20)	89 (78)	24 (20)	(78)	(20)	(78)	(20)
	計	1,358 (1,388)	371 (395)	1,406 (1,451)	386 (413)	1,382 (1,514)	384 (431)	(1,577)	(449)	(1,640)	(467)
過不足②－①		100	110	208	156	267	152				
③達成率：確保方策 (実績/計画)		97.8%	93.9%	96.9%	93.5%	91.3%	89.1%				
④待機児童数		4月1日： 0人	4月1日： 0人	4月1日： 0人	4月1日： 0人	4月1日： 0人	4月1日： 0人				

3号認定子どもの保育利用率

単位：人

区全体	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
3号認定利用定員数 (確保方策)	3,787 (3,800)	3,907 (3,962)	3,909 (4,124)	(4,286)	(4,448)
0-2歳推計人口	5,991 (6,268)	5,639 (6,267)	5,437 (6,343)	(6,346)	(6,353)
保育利用率	63.2% (60.6%)	69.3% (63.2%)	71.9% (65.0%)	(67.5%)	(70.0%)

提供区域別の状況

()内は計画の数字

東部	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
3号認定利用定員数 (確保方策)	2,058 (2,017)	2,115 (2,098)	2,143 (2,179)	(2,260)	(2,341)
0-2歳推計人口	3,200 (3,327)	3,000 (3,267)	2,898 (3,282)	(3,283)	(3,288)
保育利用率	64.3% (60.6%)	70.5% (64.2%)	73.9% (66.4%)	(68.8%)	(71.2%)

西部	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
3号認定利用定員数 (確保方策)	1,729 (1,783)	1,792 (1,864)	1,766 (1,945)	(2,026)	(2,107)
0-2歳推計人口	2,791 (2,941)	2,639 (3,000)	2,539 (3,061)	(3,063)	(3,065)
保育利用率	61.9% (60.6%)	67.9% (62.1%)	69.6% (63.5%)	(66.1%)	(68.7%)

1～2号認定こどもの教育・保育利用率

単位：人

区全体	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
1・2号認定利用定員数 (確保方策)	5,659 (6,229)	5,830 (6,463)	6,007 (6,657)	(6,888)	(7,086)
3-5歳推計人口	5,684 (5,671)	5,602 (5,755)	5,477 (5,744)	(5,822)	(5,822)
教育・保育利用率	99.6% (109.8%)	104.1% (112.3%)	109.7% (115.9%)	(118.3%)	(121.7%)

提供区域別の状況

東部	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
1・2号認定利用定員数 (確保方策)	2,880 (3,404)	3,019 (3,515)	3,159 (3,605)	(3,705)	(3,780)
3-5歳推計人口	3,110 (3,096)	3,030 (3,124)	2,955 (3,100)	(3,102)	(3,047)
教育・保育利用率	92.6% (109.9%)	99.6% (112.5%)	106.9% (116.3%)	(119.4%)	(124.1%)

西部	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
1・2号認定利用定員数 (確保方策)	2,779 (2,825)	2,811 (2,948)	2,848 (3,052)	(3,183)	(3,306)
3-5歳推計人口	2,574 (2,575)	2,572 (2,631)	2,522 (2,644)	(2,720)	(2,775)
教育・保育利用率	108.0% (109.7%)	109.3% (112.0%)	112.9% (115.4%)	(117.0%)	(119.1%)

令和4年度の実施状況と今後の展開

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う対応のため、施設整備数を当初の計画より減らしたものの、人口動態と保育需要の実態に即した教育・保育の受け皿整備ができています。推計人口と実績で乖離があり、今後の人口や保育需要の動向を推測していくことが困難であるものの、大規模マンションの竣工など局地的に発生する保育需要も勘案しながら待機児童ゼロ維持に必要な受け皿の確保を行っていきます。

2. 地域子ども・子育て支援事業

2. 地域子ども・子育て支援事業

(1) 利用者支援事業

単位：か所

区全域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量	4 (4)	4 (4)	4 (4)	(4)	(4)
②確保方策	4 (4)	4 (4)	4 (4)	(4)	(4)
基本型	1 (1)	1 (1)	1 (1)	(1)	(1)
特定型	1 (1)	1 (1)	1 (1)	(1)	(1)
母子保健型	2 (2)	2 (2)	2 (2)	(2)	(2)

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

平成27年度より、基本型として本庁舎4階に「子育てインフォメーション」を設置。妊娠届をした妊婦に対し母子保健型として池袋保健所健康推進課と長崎健康相談所にて助産師・保健師による個別面接を実施し、周産期、子育てに関わる支援情報を提供。また、保育課窓口では、主に保育等に関する情報提供及び相談・助言を行う「特定型」を実施。

引き続き、基本型1か所、特定型1か所、母子保健型2か所の計4か所体制を今後も維持していく。

(2)時間外保育事業(延長保育)

単位：人

区全域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量	443 (715)	409 (794)	396 (880)	(289)	(237)
②確保方策	1,641 (1,477)	1,648 (1,537)	1,685 (1,597)	(1,657)	(1,717)
過不足②－①	1,198	1,239	1,289		
③達成率： 確保方策(実績/計画)	111.1%	107.2%	105.5%		

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

確保方策は、私立保育園の延長保育の実施を行う新規開設に伴い微増。一方で需要量は、昨年度と比較し微減となるなど、ほぼ横ばいの状況である。今後も新設する場合は延長保育の実施を前提とするため、認可保育所の利用者が増えても対応できる見込みである。

提供区域別の状況

東部地域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量	214 (322)	203 (352)	195 (384)	(128)	(99)
②確保方策	836 (751)	846 (781)	876 (811)	(841)	(871)
過不足②－①	622	643	681		
③達成率： 確保方策(実績/計画)	111.3%	108.3%	108.0%		

西部地域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量	229 (393)	206 (442)	201 (496)	(161)	(138)
②確保方策	805 (726)	802 (756)	809 (786)	(816)	(846)
過不足②－①	576	596	608		
③達成率： 確保方策(実績/計画)	110.9%	106.1%	102.9%		

(3) 放課後児童健全育成事業(学童クラブ)

単位：人

区全域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
① 需要量	1年生	839 (715)	911 (742)	894 (765)	(923)	(943)
	2年生	663 (700)	786 (720)	892 (735)	(921)	(941)
	3年生	529 (500)	470 (520)	728 (535)	(757)	(777)
	4年生	119 (40)	101 (42)	202 (44)	(221)	(231)
	5年生	16 (18)	32 (20)	39 (22)	(44)	(46)
	6年生	5 (7)	4 (8)	20 (9)	(25)	(27)
	計	2,171 (1,980)	2,304 (2,052)	2,775 (2,110)	(2,891)	(2,965)
②確保方策		2,491 (2,491)	2,491 (2,491)	2,775 (2,491)	(2,491)	(2,491)
過不足②－①		320	187	0		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		100.0%	100.0%	111.4%		

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度は子どもスキップ一般利用を休止したため、学童クラブ利用条件を緩和し、臨時入会措置を講じたことにより、利用者が増加した。令和5年5月8日より、一般利用の全面再開に伴い、臨時入会の受け入れを終了した。今後も、各施設のスペースを確保し、需要に対応していく。

提供区域別の状況

東部地域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
① 需要量	1年生	441 (328)	456 (353)	474 (373)	(490)	(502)
	2年生	339 (320)	399 (337)	478 (350)	(494)	(506)
	3年生	278 (278)	213 (290)	389 (303)	(405)	(417)
	4年生	71 (20)	51 (21)	116 (22)	(126)	(132)
	5年生	8 (9)	15 (10)	21 (11)	(23)	(24)
	6年生	3 (3)	2 (4)	11 (4)	(13)	(14)
	計	1,140 (958)	1,136 (1,015)	1,489 (1,063)	(1,551)	(1,595)
②確保方策		1,300 (1,300)	1,300 (1,300)	1,489 (1,300)	(1,300)	(1,300)
過不足②－①		160	164	0		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		100.0%	100.0%	114.5%		

西部地域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
① 需要量	1年生	398 (387)	455 (389)	420 (392)	(433)	(441)
	2年生	324 (380)	387 (383)	414 (385)	(427)	(435)
	3年生	251 (222)	257 (230)	339 (232)	(352)	(360)
	4年生	48 (20)	50 (21)	86 (22)	(95)	(99)
	5年生	8 (9)	17 (10)	18 (11)	(21)	(22)
	6年生	2 (4)	2 (4)	9 (5)	(12)	(13)
	計	1,031 (1,022)	1,168 (1,037)	1,286 (1,047)	(1,340)	(1,370)
②確保方策		1,191 (1,191)	1,191 (1,191)	1,286 (1,191)	(1,191)	(1,191)
過不足②－①		160	23	0		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		100.0%	100.0%	108.0%		

(3)-2 子どもスキップ事業、放課後子ども教室

子どもスキップ事業

単位：人日

区全域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量（人日）	390 (199,319)	3,395 (191,346)	56,411 (183,692)	(70,000)	(100,000)
②確保方策(箇所)	22 (22)	22 (22)	22 (22)	(22)	(22)

()内は計画の数字

放課後子ども教室事業

単位：人日

区全域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量（人日）	2,729 (34,500)	4,934 (34,500)	11,241 (34,500)	(20,000)	(25,000)
②確保方策(箇所)	22 (22)	22 (22)	22 (22)	(22)	(22)

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

新型コロナウイルスの影響により、子どもスキップ一般利用は人数・日数等を制限し、実施した。令和5年9月より一度帰宅してからの利用を再開、1月より1～3年生の直接利用を再開した。

放課後子ども教室は、対面型での事業を一部再開した。児童がタブレット端末で視聴できる動画配信も継続している。

令和5年5月より、一般利用を全面再開し、コロナ禍以前の利用を見込んでいる。

(4) 子育て短期支援事業(ショートステイ)

単位: 人日(年間延べ利用者数)

区全域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量	421 (366)	436 (403)	488 (443)	(436)	(436)
②確保方策	3,285 (3,285)	3,285 (3,285)	3,618 (3,285)	(3,285)	(3,285)
過不足②-①	2,864	2,849	3,130		
③達成率 : 確保方策(実績/計画)	100.0%	100.0%	110.1%		

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

平成30年度より、新たな受け入れ先を加え、要支援家庭対象のショートステイ及びトワイライトステイ事業を開始した。
令和4年度は、年度途中より新たな受け入れ先(2か所)を確保し、一般家庭の利用は108人日、要支援家庭の利用は380人日となった。
引き続き本事業により、一時的な養育先の確保と要支援家庭のサポートを行う。

(5) 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

単位: 人

区全域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量	1,634 (2,130)	1,709 (2,130)	1,688 (2,130)	(2,130)	(2,130)
②確保方策	委託助産師	15 (17)	15 (17)	17 (17)	(17)
	地区担当保健師	17 (16)	17 (16)	17 (16)	(16)

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

出産後、母体の心身の不調や育児不安などに対応するため、今後も訪問指導員の人員と質を維持し継続実施する。

(6) 養育支援訪問事業および子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

(1) 養育支援訪問事業

単位：人

区全域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量	3,658 (1,698)	5,459 (1,852)	3,536 (2,006)	(5,459)	(5,459)
②確保方策	実施体制：10人（東部6人、西部4人） 実施機関：子ども家庭支援センター 委託団体等：民間事業者5社（令和2年12月から2社追加）				

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

コロナの状況の変化で利用実績は減少したが、家事育児援助や見守りを要する家庭数の減少は無い。出産前の登録、利用が増加した。事業者は5社で対応、要支援家庭への配慮をより丁寧を実施してきた。今後は、妊産婦の需要の増加、新生児の専門的なケアの要望が見込まれるため対応を強化する。

(2) 子どもを守る地域ネットワーク事業

		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
区 全 域	実施体制	代表者会議…年2回 実務者会議…年4回 ネットワーク会議…年12回 個別ケース会議…随時 職員向け虐待防止勉強会…（スキップ・保育園・区民ひろば、ファミリーサポート援助会員向け出張講座・民児協など）44か所 児童相談所OBIによる研修…年15回（令和4年度実績）				

令和4年度の実施状況と今後の展開

令和4年度の児童虐待等の年間対応件数は1,264件と過去最高となった。令和5年2月に豊島区児童相談所が開設。開設を機に豊島区児童相談所・保健所・子ども家庭支援センターの三機関連携会議が始まり、妊娠期～子育てに不安を持つ家庭を三機関が支え、切れ目のない支援を行い、虐待の防止や再発防止に取り組むための会議体が発足。要保護児童対策地域協議会構成機関加入促進をはかり、子どもたちを見守る体制を拡充する。

(7)地域子育て支援拠点事業(子育てひろば事業)

単位:人日(年間延べ利用者数)

区全域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度	
①需要量	124,071 (272,364)	136,268 (272,328)	157,395 (275,628)	(141,801)	(142,391)	
②確保方策*	45 (45)	44 (44)	43 (43)	(43)	(42)	
内訳	子ども家庭支援センター	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
	区民ひろば(子育てひろば)	22か所	22か所	22か所	22か所	22か所
	区立保育園	19か所	18か所	17か所	17か所	16か所
	私立保育所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	児童館	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
③達成率: 確保方策(実績/計画)	100.0%	100.0%	100.0%			

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

子ども家庭支援センターの親子遊び広場事業は、例年40,000人日程度の利用で推移していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言による休館や、再開後の開館時間の短縮等により、約24,000人に減少した。令和3、4年度は利用が増え、26,500人程の利用があった。区民ひろばは、令和4年度は新型コロナウイルスの影響が緩やかとなり、前年度までと比較すると需要量が増加した。保育所においては、区立保育所を中心に子育てひろば事業を実施し、子育てについての相談や情報提供、地域における親子交流の促進を図っている。前年度と比較すると需要量は増加した。今後も引き続き、感染症対策を講じながら、区内各施設において子育て相談や親子交流の場の提供などの取り組みを継続していく。

提供区域別の状況

東部地域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度	
①需要量	73,657 (146,839)	78,224 (144,241)	83,922 (144,919)	(77,056)	(77,056)	
②確保方策*	22 (22か所)	21 (21か所)	21 (21か所)	(21か所)	(20か所)	
内訳	子ども家庭支援センター	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	区民ひろば(子育てひろば)	12か所	12か所	12か所	12か所	12か所
	区立保育園	9か所	8か所	8か所	8か所	7か所
	児童館	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所

西部地域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度	
①需要量	50,414 (125,525)	58,044 (128,087)	73,473 (130,709)	(64,745)	(65,335)	
②確保方策*	23 (23か所)	23 (23か所)	22 (22か所)	(22か所)	(22か所)	
内訳	子ども家庭支援センター	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	区民ひろば(子育てひろば)	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所
	区立保育園	10か所	10か所	9か所	9か所	9か所
	私立保育所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	児童館	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所

*一般型、都単独型として実施している箇所数

(8)一時預かり事業

A 幼稚園型

単位：人日(年間延べ利用者数)

区全域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
① 需要 量	1号認定	26,100 (29,394)	30,477 (29,830)	42,702 (29,773)	(28,960)	(28,960)
	2号認定	2,240 (72,266)	2,240 (73,337)	2,430 (73,196)	(2,240)	(2,240)
② 確 保 方 策	区立幼稚園	13,015 (13,728)	16,715 (13,728)	17,105 (13,728)	(13,728)	(13,728)
	私立幼稚園	101,700 (101,700)	101,700 (101,700)	101,700 (101,700)	(101,700)	(101,700)
	計	114,715 (115,428)	118,415 (115,428)	118,805 (115,428)	(115,428)	(115,428)
過不足②-①		86,375	85,698	73,673		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		99.4%	102.6%	102.9%		

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

各区立幼稚園は、預かり保育指導員3名により実施している。利用希望者は全員受け入れており、毎年度需要に見合った供給を実現している。また、全園にて長期休業中の預かり保育を実施した。

各私立幼稚園では、預かり保育の教職員を配置し、保護者からの要望に応じた受入枠を確保している。令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症が収束傾向になったことにより一時預かりに関する需要が増加しているものの、各園の取組により十分な供給量を確保しており、供給量を上回る利用はなかった。

提供区域別の状況

東部地域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
① 需要 量	1号認定	9,400 (18,401)	16,160 (18,586)	18,694 (18,462)	(15,755)	(15,755)
	2号認定	0 (44,155)	0 (44,591)	0 (44,285)	(0)	(0)
② 確 保 方 策	区立幼稚園	4,230 (4,576)	5,555 (4,576)	5,625 (4,576)	(4,576)	(4,576)
	私立幼稚園	61,000 (61,000)	61,000 (61,000)	61,000 (61,000)	(61,000)	(61,000)
	計	65,230 (65,576)	66,555 (65,576)	66,625 (65,576)	(65,576)	(65,576)
過不足②-①		55,830	50,395	47,931		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		99.5%	101.5%	101.6%		

西部地域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
① 需要 量	1号認定	16,700 (10,993)	14,317 (11,244)	24,008 (11,311)	(13,205)	(13,205)
	2号認定	2,240 (28,111)	2,240 (28,746)	2,430 (28,911)	(2,240)	(2,240)
② 確 保 方 策	区立幼稚園	8,785 (9,152)	11,160 (9,152)	11,480 (9,152)	(9,152)	(9,152)
	私立幼稚園	40,700 (40,700)	40,700 (40,700)	40,700 (40,700)	(40,700)	(40,700)
	計	49,485 (49,852)	51,860 (49,852)	52,180 (49,852)	(49,852)	(49,852)
過不足②-①		30,545	35,303	25,742		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		99.3%	104.0%	104.7%		

B 一時預かり事業(幼稚園型を除く)、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)

単位: 人日(年間延べ利用者数)

区全体		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
① 需要量	保育園	2506	2,889	3,473		
	子ども家庭支援センター	3473	4606	5046		
	ファミリー・サポート・センター	2467	4370	5252		
	計	8446 (16,631)	11,865 (16,672)	13,771 (16,776)	(11,468)	(11,484)
② 確保 方 策	保育園	9,360	10,890	12,100		
	子ども家庭支援センター	2696	3269	3980		
	ファミリー・サポート・センター	5685	8533	9985		
	計	17,741 (27,324)	22,692 (27,355)	26,065 (27,426)	(27,470)	(27,466)
過不足②-①		9,295	10,827	12,294		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		64.9%	83.0%	95.0%		

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

保育園:

昨年度と比較すると、需要量・確保方策ともに増加・維持している。園によっては利用率が低いケースがある一方、利用希望に対する定員枠の不足により、申込を断っている園もある。保護者からのニーズは高いと考えられるため、利用できる園の周知や手続きの簡略化等、利用率の低い施設の枠も効率的に埋められるよう工夫していく。

子ども家庭支援センター:

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言に伴う事業休止や、その後の利用控え、在宅勤務の増加等の影響もあり、前年度に比べて利用実績はほぼ半減となった。令和3年度以降は利用が増加。コロナ禍以前の状況に戻つつある。子ども家庭支援センターの一時預かりは、定員の制限を解除し引き続き、感染対策を徹底しながら、一時預かり需要への対応を行っていく。

ファミリーサポートセンター:

新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えや在宅勤務の増加等の影響により、利用は落ち込んでいたが、令和3年度以降、利用実績は回復傾向となった。引き続き、一時預かり需要への対応を行っていく。

提供区域別の状況

東部地域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
① 需要量	保育園	1,403	1,422	1,612		
	子ども家庭支援センター	1,910	2,702	2,873		
	ファミリー・サポート・センター	1,517	2,531	3,369		
	計	4,830 (10,480)	6,655 (10,386)	7,854 (10,396)	(6,469)	(6,397)
② 確保 方策	保育園	5,616	6,534	7,744		
	子ども家庭支援センター	1,436	1,766	2,204		
	ファミリー・サポート・センター	3,089	4,526	5,937		
	計	10,141 (16,497)	12,826 (16,435)	15,885 (16,441)	(16,441)	(16,406)
過不足②-①		5,311	6,171	8,031		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		61.5%	78.0%	96.6%		

西部地域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
① 需要量	保育園	1,103	1,467	1,861		
	子ども家庭支援センター	1,563	1,904	2,173		
	ファミリー・サポート・センター	950	1,839	1,883		
	計	3,616 (6,151)	5,210 (6,286)	5,917 (6,380)	(4,999)	(5,087)
② 確保 方策	保育園	3,744	4,356	4,356		
	子ども家庭支援センター	1,260	1,503	1,776		
	ファミリー・サポート・センター	2,596	4,007	4,048		
	計	7,600 (10,827)	9,866 (10,920)	10,180 (10,985)	(11,029)	(11,060)
過不足②-①		3,984	4,656	4,263		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		70.2%	90.3%	92.7%		

*このほか、平成30年度より、要支援家庭を対象とした夜間までの一時預かり事業「トワイライトステイ事業」を実施しています。

単位：人日

トワイライトステイ事業	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量	90 (10)	126 (10)	126 (10)	(126)	(126)
②確保方策	1,460 (10)	1,460 (10)	1,460 (10)	(10)	(10)
過不足②-①	1,370	1,334	1,334		
③達成率：確保方策(実績/計画)	14600.0%	14600.0%	14600.0%		

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

令和4年度は前年度と同様に126人日の利用があった。引き続き要支援家庭のサポートのため、本事業の定着を図る。

(9) 病児・病後児保育事業

単位：人日（年間延べ利用者数）

区全域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量		242 (1,292)	502 (1,500)	762 (1,753)	(985)	(1,233)
② 確保 方 策	施設型	1,850 (2,440)	2,420 (2,440)	2,420 (2,928)	(2,928)	(3,416)
	訪問型	350 (215)	455 (215)	379 (215)	(215)	(215)
	計	2,200 (2,655)	2,875 (2,655)	2,799 (3,143)	(3,143)	(3,631)
過不足②－①		1,958	2,373	2,037		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		82.9%	108.3%	89.1%		

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

本年度の需要量は昨年度比で1.5倍増となったものの、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、大幅な利用者数の増大にはつながらなかった。一方で、確保方策における施設型の開所日数は例年通りの数値となり、需要に対しては十分な受け皿が確保できた。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大による特異的な状況は変わっておらず、病児病後児保育事業の潜在的な需要が今後とも少なくはないと考えられるため、引き続き事業の浸透を図っていく。

提供区域別の状況

東部地域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量		115 (657)	336 (824)	323 (1,033)	(436)	(543)
② 確保 方 策	施設型	740 (976)	968 (976)	968 (1,464)	(1,464)	(1,952)
	訪問型	175 (108)	228 (108)	190 (108)	(108)	(108)
	計	915 (1,084)	1,196 (1,084)	1,158 (1,572)	(1,572)	(2,060)
過不足②－①		800	860	835		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		84.4%	110.3%	73.7%		

西部地域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量		127 (635)	166 (676)	439 (720)	(549)	(690)
② 確保 方 策	施設型	1,110 (1,464)	1,452 (1,464)	1,452 (1,464)	(1,464)	(1,464)
	訪問型	175 (107)	227 (107)	189 (107)	(107)	(107)
	計	1,285 (1,571)	1,679 (1,571)	1,641 (1,571)	(1,571)	(1,571)
過不足②－①		1,158	1,513	1,202		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		81.8%	106.9%	104.5%		

(10)子育て援助活動支援事業(小学生のファミリー・サポート・センター事業)

単位:人日(年間延べ利用者数)

区全域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
① 需要量	低学年	269 (754)	415 (754)	461 (754)	(530)	(530)
	高学年	40 (199)	34 (199)	27 (199)	(100)	(100)
	計	309 (953)	449 (953)	488 (953)	(630)	(630)
②確保方策		714 (953)	878 (953)	930 (953)	(953)	(953)
過不足②-①		405	429	442		
③達成率： 確保方策(実績/計画)		74.9%	92.1%	97.6%		

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

未就学児家庭の利用が中心の事業のため、高学年の需要量は減少傾向にある。令和2年度はコロナ禍の影響で大幅な減少となったが、令和3年度以降、回復ってきている。未就学児を含むファミリー・サポート・センター事業全体として、ニーズに沿った援助活動の支援を継続する。

(11)妊婦健康診査

単位:上段/人、下段/件

区全域		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
①需要量		2,446人 (2,654)	2,306人 (2,653)	2,276人 (2,661)	(2,662)	(2,670)
		26,945件 (30,995)	26,742件 (30,981)	25,767件 (31,080)	(31,094)	(31,194)
②確保方策		区内委託医療機関で実施。 その外、都内医療機関への実施委託を特別区の集合契約により確保します。				

()内は計画の数字

令和4年度の実施状況と今後の展開

妊婦一人当たり14回健診を受けている。引き続き妊婦が定期的に必要な健診を受けることができるように医療機関の委託により実施していく。

(12)実費徴収に係る補足給付を行う事業

令和4年度の実施状況と今後の展開

【区立幼稚園】

令和2年度から事業を開始。対象世帯からの申請が無かったため給付実績なし。生活保護受給者の多くは保育園に入園するため、今後も対象が増加する可能性は低いと予想される。

【私立幼稚園】

年収680万円未満相当世帯の子ども又は第3子以降の子どもに対し、副食費(おやつ・牛乳代を含む)の補助(国基準)を行うことに加え、区独自で対象を拡充し主食費を補助対象に加えている。

令和2年度より給付対象者を年収360万円未満から680万円未満の世帯に拡充したことにより、申請者が増加し、新型コロナウイルスの収束に伴い補助額も増加傾向にある。

(13)多様な事業者の参入促進・能力活用事業

①新規参入施設等への巡回支援

区全域	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度
実施体制	・巡回指導員(元公立保育園長 3名) ・会計専門員(2名)	巡回指導員(元公立保育園長 5名)			

令和4年度の実施状況と今後の展開

元公立保育園長による保育所の巡回支援について、豊島区内の民間保育所を定期的に巡回することで、安全・安心な保育環境を提供できるよう助言・指導を行っており、令和4年度についても引き続き実施した。令和5年度以降も継続して事業を実施していく。

②認定こども園特別支援教育・保育経費

事業概要

私学助成(特別支援教育経費)や障害児保育事業の対象とならない特別な支援が必要な子どもを私立認定こども園で受け入れる場合に、職員の加配に必要な費用を補助します。

量の見込みと確保方策

給付対象者を適切に把握し、必要に応じて補助を行っていきます。

令和4年度の実施状況と今後の展開

給付対象者の把握を行い、引き続き適切な補助が出来るよう検討を継続する。

マイほいくえん事業

1. 事業の概要と経過

本事業は子ども・子育て支援事業計画における必須記載事項にはあたらないが、在宅子育ての取組として令和元年10月より事業を開始。豊島区公立保育園を身近な子育て拠点「マイほいくえん」と位置づけ、妊娠中の方やそのパートナー、在宅育児中の家庭を対象に、区立保育園を子育てのコミュニティの場として、妊娠・出産・子育てまで切れ目なく地域の家庭を支えることを目的とする。

従来の「地域支援事業」と異なり、最寄りの保育園に登録する「かかりつけ制」を導入した。各園が実施する事業により多くの妊娠中の方やそのパートナー、在宅育児中の家庭が参加できるようにしていく。

令和2年4月以降、緊急事態宣言発出に伴う休園に際しては、マイほいくえん事業も活動を大幅に縮小した。

しかし、保護者への電話での相談や、人数を絞ってのイベント開催など、感染対策を実施しつつ、「かかりつけ園」が「地域の家庭を支える」というマイほいくえん事業の強みを生かしながら事業を継続した。

また、令和5年4月より私立保育所、地域型保育事業所と協働し、事業実施園を拡大したことで、区民にとって保育園がより身近な存在となり、マイほいくえんを利用しやすい環境になった。

2. 本登録者数の年度ごとの推移(令和5年5月末集計)

時期	本登録人数 (A)	登録解除人数 (B)	総登録者数 (A—B)
令和元年度計	195	84	—
令和2年度計	165	98	—
令和3年度計	154	97	—
令和4年度計	219	199	—
令和5年5月末までの総数	55(28)	48(0)	—
総数	788(28)	526(0)	262(28)

(注) ()内は私立保育所、地域型保育事業所の人数(内数)

例年、入園希望の見学が増える秋に新規登録者も増える傾向にある。また、登録解除も3月に集中している。解除理由は、理由を聞けた方全員が保育園・幼稚園の入園、他区や他県への転出であった。

緊急事態宣言中などは新規登録者が全くいない、あるいは極端に少ない状況であったが、コロナ収束の兆しが見え始めると、登録者数が伸びていき、令和4年度は令和3年度を大きく上回る登録者数となった。

3. 今後の課題

本事業を開始してから約4年が経過するが、この間、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたことで、登録者数の減少や事業実施回数の減少等が見られる期間があった。

しかし、令和5年4月より私立保育所、地域型保育事業所が実施園に加わったこと、また令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたこともあり、登録者数や事業数、事業への参加者数が増えてきている。増加傾向にあるこのタイミングで、登録者にアンケートを実施することで、マイほいくえんの課題等を洗い出し、登録者がより利用しやすい事業にしていく必要があると考える。

**「豊島区子ども・若者総合計画」
（「子ども子育て支援事業計画」を含む）の改定について**

1、豊島区子ども・若者総合計画の位置づけ・他の計画との関連

○令和2年4月「すべての子ども・若者の権利が保障され豊かな文化の中で自分らしく成長できるまちづくり」を基本理念として、「豊島区子どもプラン」を継承しつつ、「子どもの権利推進計画」「子どもの貧困対策についての計画」としても位置付けた計画として策定。

○豊島区基本計画の子ども若者福祉分野の計画として位置づけられている。

○社会福祉法の規定に基づいて策定される「豊島区地域保健福祉計画」の子ども分野の計画としても位置づけられている。

○第4章で「子ども・子育て支援法」に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を含めて策定されている。

2、計画の対象

原則として0歳から30歳（一部の施策では概ね39歳）までの子ども、若者及び子育て家庭

「子ども・子育て支援事業計画」については、妊娠期～小学生までの子ども及び子育て家庭

3、計画期間

- ・現在の計画 令和2年度～令和6年度までの5年間
- ・改定後の次期計画（予定） 令和7年度～令和11年度までの5年間

4、計画改定の主な予定

- 令和5年度
区民ニーズ調査、ヒアリング調査、調査結果の分析
- 令和6年度
計画案の検討、計画事業の庁内調査、計画案の作成、パブリックコメントの実施、計画書の印刷

5、計画案の策定を検討する会議体

検討組織	検討事項
青少年問題協議会	○豊島区子ども若者総合計画全体の検討
子どもの権利委員会	○子どもの権利推進に関する計画の検討
子ども・子育て会議	○子ども・子育て支援事業計画に関する検討

6、子ども・若者総合計画策定のための調査

(1) 調査目的

下記を把握し、計画策定の基礎資料とする。

- ① 計画策定に必要な、子育て家庭や子ども・若者の生活実態、子ども・若者及び、地域の子ども・若者・子育て家庭を支援する団体や、子ども施設職員の意識
- ② 「子ども・子育て支援事業計画」策定に必要な幼児教育・保育等の利用状況と利用意向

(2) 調査対象

①区民調査

	調査票種類	対象者	件数	H30 回収率
1	保護者	就学前児童保護者	1,500 件	49.2
2		小学生保護者	1,500 件	47.3
3		中学・高校生等保護者	1,500 件	36.3
4	子ども 若者	小学校 4～6 年生	750 件	37.2
5		中学生・高校生等	1,500 件	30.3
6		若者	1,500 件	20.1
		合計	8,250 件	36.7

※ 対象者は、住民基本台帳から無作為に抽出

②子ども施設職員・地域団体等調査

	調査票の種類	対象者	件数	H30 回収率
1	子ども施設職員	保育園、幼稚園、小中学校、子どもスキップ等の職員	300 件	90.7
2	地域団体等	町会長、民生・児童委員、保護司、青少年育成委員等	350 件	60.5
		合計	650 件	74.5

(3) 調査項目の検討

平成 30 年度に実施した『豊島区子どもの実態・意識に関する調査』及び国から示される予定の子ども・子育て支援事業計画量の見込みの算出の手引きの内容等を踏まえ、調査項目を検討する。

調査項目は青少年問題協議会、子どもの権利委員会、子ども子育て会議及び行

政で調整し、決定する。青少年問題協議会においては、専門委員会を設置して検討する。

なお、子ども子育て会議では、就学前児童保護者及び小学生保護者の調査票について調整を行う。

(4) 調査方法

郵送による配布及び回収。WEB 回答にも対応する。調査は 11 月頃に実施し、調査期間は 2 週間程度、回収締切 1 週間後にお礼状兼督促ハガキを送付する。

(5) 調査票の外国語対応

調査票については、英語、中国語、韓国語、やさしい日本語版を各数部ずつ用意し、希望者に子ども若者課窓口にて配布できるようにする。

(6) ヒアリング調査

区職員等による、子ども施設での子どもに対するインタビューと、障害、不登校、性的マイノリティ（多様な性自認・性的指向の人々）外国ルーツ等の支援団体等での子ども・若者へのヒアリングを行う。

7、改定の全体スケジュール

別紙 子ども若者総合計画改定スケジュール参照

8、青少年問題協議会専門委員会の構成

区民調査の調査項目を検討する青少年問題協議会専門委員会の構成は、豊島区青少年問題協議会要綱第 5 条により、協議会の委員のうち学識経験者 10 名以内の委員により構成する。

1. 専門委員会の構成

氏名	区分
加藤 悦雄	大学関係等（大妻女子大学）
半田 勝久	大学関係等（日本体育大学）
市川 享子	大学関係等（東海大学）
小関 睦堯	一般公募
坂下 睦子	一般公募
中野 航綺	一般公募

豊島区子どもの実態・意識に関する調査

(調査ご協力をお願い)

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

豊島区では、子どもの健やかな成長や子育てを支える施策の推進のために、「豊島区子どもの権利に関する条例」の視点も加えた「豊島区子ども・若者総合計画」(令和2年～6年)を策定しました。本計画が来年度期間満了を迎えることに伴い、計画改定の基礎資料とさせていただきますため、区民の皆様の子育てに関する生活実態やニーズについて調査を実施いたします。

この調査は、住民基本台帳に登録されている小学校就学前(0歳～5歳)のお子さんの保護者の中から無作為に1,500名の方を選び、回答をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、今後の本区の施策を進めていくための基礎資料にのみ使用し、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



令和5年11月 豊島区子ども家庭部子ども若者課



【記入にあたってのお願い】

1. 封筒のあて名のお子さんについて、お答えください。
2. このアンケートで「あなた」とは、アンケートに回答される方を表します。
3. 回答は、あてはまる選択肢に○をつけるものと、枠内に記入するものがあります。また、設問によって○をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
4. ご記入いただいたアンケートは**令和5年11月16日(木)まで**に同封の返信用封筒に入れて、お近くのポストに投函してください。切手は不要です。

調査についてのお問い合わせ先

《調査の趣旨》

豊島区 子ども家庭部 子ども若者課 管理・計画グループ 電話：03-4566-2471

※英語・中国語・韓国語の調査票を希望される方は、区役所の子ども若者課の窓口に取りに来てください。

*For those who would like an English, Chinese or Korean questionnaire, please come to the Children and Youth Section at the City Office.

※如希望使用英文、中文或韩文版的调查表，请前往区政府的儿童·年轻人课窗口索取。

※영어·중국어·한국어 조사표를 희망하시는 분은, 구청 어린이·젊은이과 창구에서 받아가시기 바랍니다.

(案)

最初に、あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問1 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。

平成 年 月 生まれ



問2 あて名のお子さんの性別をご記入ください。

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。
(1つに○)

1 母親 2 父親 3 その他 ()

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1 配偶者がいる 2 配偶者はいない

問5 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1 父母ともに 3 主に父親 5 その他
2 主に母親 4 主に祖父母 ()

問6 あて名のお子さんの同居している家族は何人ですか。なお、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなして合計人数を書いてください。

人(あて名のお子さんを含めて)

問7 あて名のお子さんは何人兄弟・姉妹ですか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。
(1つに○)

1 1人 2 2人 3 3人 4 4人以上

問8 一番大きいお子さん(長子)と一番小さいお子さん(末子)の年齢を平成30年4月1日現在でお書きください。お子さんが一人だけ(あて名のお子さんのみ)の場合は記入する必要はありません。

一番大きいお子さん 歳 一番小さいお子さん 歳

問9 あて名のお子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる方の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください(続柄はあて名のお子さんからみた関係)。

なお、父親または母親が単身赴任の場合は、その他に○をつけ、単身赴任している方がだれかをご記入ください。また、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなしてください。

(「近く」とはおおむね30分以内で行き来できる範囲のこと)

1 父母同居 4 祖父同居 7 祖父のみ近くに居住
2 父親同居(ひとり親家庭) 5 祖母同居 8 祖母のみ近くに居住
3 母親同居(ひとり親家庭) 6 祖父母が近くに居住 9 その他 ()

(案)

問 10 お住まいのまちはどこですか。(1つに○)

1 駒込	7 東池袋	13 高田	19 要町
2 巣鴨	8 南池袋	14 目白(1・2丁目)	20 高松
3 西巣鴨	9 西池袋	15 目白(3～5丁目)	21 千川
4 北大塚	10 池袋	16 南長崎	
5 南大塚	11 池袋本町	17 長崎	
6 上池袋	12 雑司が谷	18 千早	

問 11 豊島区に、通算何年お住まいですか。(1つに○)

1 1年未満	3 6年～10年	5 16年～20年
2 1年～5年	4 11年～15年	6 21年以上

問 12 豊島区にお住まいになるようになったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 親(または配偶者の親)の代からずっと	5 本人(または配偶者)の通勤に便利
2 親(または配偶者の親)の介護等のため	6 子どもの通学に便利
3 保育所や幼稚園等、子育ての環境がよい	7 山手線や地下鉄等に近く何かと便利
4 小学校等の教育環境がよい	8 その他()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

この項目に出てくる「フルタイム」「パート・アルバイト等」とは・・・

- フルタイム = 1週5日程度・1日8時間程度の就労
- パート・アルバイト等 = フルタイム以外の就労



問 13 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

項目	それぞれ1つに○	
	母親※	父親※
1 フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
3 パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4 パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6 これまで就労したことがない	6	6

※「母親」の欄は父子家庭の場合、記入は不要です。また「父親」の欄は母子家庭の場合、記入は不要です。

※保護者が「自営業、家族従事者」の場合は、従事している平均的な就業時間で「フルタイム」か「パート・アルバイト等」のいずれかを判断して該当欄に記入してください。



※以下、問 14 まで「自営業、家族従事者」の場合は、設問中の用語の「就労」を「就業」とみなしてお答えください。また、平均的な「就業時間」より「フルタイム」か「パート・アルバイト等」のいずれかを判断して該当欄に記入してください。

(案)

◆問 13-1 は、問 13 の「母親」または「父親」で「1」～「4」（就労している）とお答えの方にかがいます

問 13-1 週のおおよその就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間についてご記入ください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【母親】（父子家庭の場合、記入は不要です）

※時間の記入については、24 時間制（例：午後 5 時⇒**17 時**）で記入してください。

ア 1 週あたり平均就労日数	<input type="text"/>	日						
イ 1 日あたり平均就労時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間					
ウ 家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	※24 時間制で記入
エ 土曜日の就労	1	毎週休み	2	月に	<input type="text"/>	日就労		
オ 日曜日・祝祭日の就労	1	すべて休み	2	時々就労	3	ほとんど就労		
カ 通勤時間（片道）	1	なし	4	30 分～1 時間未満				
	2	15 分未満	5	1 時間～1 時間 30 分未満				
	3	15 分～30 分未満	6	1 時間 30 分以上				

【父親】（母子家庭の場合、記入は不要です）

※時間の記入については、24 時間制（例：午後 5 時⇒**17 時**）で記入してください。

ア 1 週あたり平均就労日数	<input type="text"/>	日						
イ 1 日あたり平均就労時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間					
ウ 家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	※24 時間制で記入
エ 土曜日の就労	1	毎週休み	2	月に	<input type="text"/>	日就労		
オ 日曜日・祝祭日の就労	1	すべて休み	2	時々就労	3	ほとんど就労		
カ 通勤時間（片道）	1	なし	4	30 分～1 時間未満				
	2	15 分未満	5	1 時間～1 時間 30 分未満				
	3	15 分～30 分未満	6	1 時間 30 分以上				

◆問 13-2 は、問 13 の「母親」または「父親」で、「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労）とお答えの方にかがいます

問 13-2 フルタイムへの転換希望はありますか。

項 目	それぞれ1 つに○	
	母親	父親
1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3 パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

(案)

◆問 13-3 は、問 13 の「母親」または「父親」で、「5」または「6」（就労していない）とお答えの方に
うかがいます

問 13-3 就労したいという希望はありますか。

【母親】（就労希望と希望する就労形態それぞれ1つに○）

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1年より先、一番下の子どもが 歳になった頃に就労したい
- 3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

⇒希望する
就労形態

- ア フルタイム
イ パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）
⇒1週あたり 日 1日あたり 時間

【父親】（就労希望と希望する就労形態それぞれ1つに○）

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1年より先、一番下の子どもが 歳になった頃に就労したい
- 3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

⇒希望する
就労形態

- ア フルタイム
イ パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）
⇒1週あたり 日 1日あたり 時間

◆問 13-4 は、問 13-3 の「母親」または「父親」で、「2」または「3」とお答えの方にうかがいます

問 13-4 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

項 目	それぞれ1つに○	
	母親	父親
1 保育園などの保育サービスが受けられないため	1	1
2 子育てしながら働ける適当な仕事がないため	2	2
3 自分の知識や能力に合う仕事がないため	3	3
4 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られないため	4	4
5 その他（具体的に <input type="text"/>)	5	5

問 14 あて名のお子さんの時に利用された育児休業は、誰がどれくらい利用しましたか。母親と父親の両方が利用した場合は、両方に○をつけてください。

また、利用された方が職場復帰した時のお子さんの月齢をご記入ください。

- 1 母親が利用した 取得期間→ か月
⇒職場復帰した時のお子さんの月齢 か月 例) 1歳6か月なら18と記入
- 2 父親が利用した 取得期間→ か月
⇒職場復帰した時のお子さんの月齢 か月 例) 1歳6か月なら18と記入
- 3 利用しなかった
- 4 制度がなかった

(案)

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(1つに○)

1 利用している

2 利用していない(→問 15-4 へ)

問 15-1 あて名のお子さんは、平日の定期的な教育・保育事業としてどのようなものを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
また、現在の利用状況と今後の利用意向をご記入ください。時間は必ず 24 時間制でお願いいたします。なお、実施場所については下記地区一覧から選んでください。

【実施場所一覧】

1 駒込	8 南池袋	15 目白(3~5丁目)	31 新宿区	41 その他
2 巣鴨	9 西池袋	16 南長崎	32 文京区	※区市町村名を記入してください
3 西巣鴨	10 池袋	17 長崎	33 北区	
4 北大塚	11 池袋本町	18 千早	34 板橋区	
5 南大塚	12 雑司が谷	19 要町	35 練馬区	
6 上池袋	13 高田	20 高松		
7 東池袋	14 目白(1・2丁目)	21 千川		



あてはまる番号のすべてに○をつけ、現在の利用状況と今後の希望の利用について記入してください。

施設・サービスの種類	項目	現在利用している	今後の希望
1 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時~(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時	(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時~(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時
実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区	
2 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時~(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時	(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時~(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時
実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区	
3 認可保育所 (国が定める基準に適合した施設で東京都の認可を受けた定員20人以上のもの)	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時~(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時	(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時~(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時
実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区	
4 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時~(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時	(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時~(<input type="text"/> <input type="text"/>) 時
実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区	

(案)

施設・サービスの種類	項目	現在利用している	今後の希望
5 小規模保育施設 (対象年齢0~3歳未満、豊島区が審査確認し認可施設として設置した定員6~19人の施設)	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時	(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時
	実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区
6 家庭的保育 (対象年齢0~3歳未満、家庭的な雰囲気のもとで、5人以下の子どもを保育する事業)	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時	(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時
	実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区
7 事業所内保育施設 (事業所の保育施設などで従業員の子どもと地域の子どもと一緒に保育する施設)	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時	(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時
	実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区
8 認証保育所 (認可保育所ではないが、東京都が認証した施設)	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時	(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時
	実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区
9 企業主導型保育 (企業が従業員の働き方に応じて設置する保育施設や、地域の企業が共同で設置・利用する保育施設)	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時	(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時
	実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区
10 その他の認可外保育施設	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時	(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時
	実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区
11 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの自宅で保育する事業)	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時	(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時
	実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区
12 ファミリー・サポート・センター (ファミリー・サポート・センターに登録している地域住民が子どもを預かる事業)	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時	(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時
	実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区
13 その他 ()	1週あたり	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	1日あたり	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
		(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時	(<input type="text"/>) 時 ~ (<input type="text"/>) 時
	実施場所	(<input type="text"/>) 地区	(<input type="text"/>) 地区

◆問15-2は、問15で「1. 利用している」とお答えの方にかがいます

問15-2 利用している理由は何ですか。(1つに○)

＜お子さんの身の回りの世話を主にしている人が＞	
1 現在就労している	5 学生である
2 就労予定がある／求職中である	6 1~5までの事情はないが子どもの教育や発達のため
3 家族・親族等の介護	7 その他 ()
4 病気や障害をもっている	

(案)

◆問 15-3 は、問 15-1 で「1 幼稚園（通常の就園時間）」と「2 幼稚園の預かり保育」とお答えの方に向かいます

問 15-3 幼稚園の在園時間、入園理由についてご記入ください。（時間は24時間制でお書きください）

ア 在園時間	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分～ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分まで
イ 入園理由 (1つに○)	1 はじめから幼稚園に入れようと思っていた 2 預かり保育で希望時間まで預けられる 3 保育園に入れたかったが、入園できる条件に合わなかった 4 保育園に申し込んだが、入れなかった 5 その他 ()

◆問 15-4 は、問 15 で（現在）「2 利用していない」とお答えの方に向かいます

問 15-4 現在幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由は何ですか。（1つに○）

1 (子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない 2 子どもの祖父母や親戚の人がみている 3 近所の人や友人・知人がみている 4 利用したいが、保育サービスに空きがない 5 利用したいが、経済的な理由でサービスを利用できない 6 利用したいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が合わない 7 利用したいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない 8 子どもがまだ小さいため <input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている 9 その他 ()
--

【すべての方に向かいます】

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。**重視する順番が高い方から5つを選んで**例に示すようにその順番を記入してください。なお、③と④を選ばれた方は、該当欄に○をつけ、点線内も記入してください。

例	記入	選択項目	例	記入	選択項目
1		① 自宅の近く			② 子どもが将来通う小学校のある居住地区内にあること
		③ 職場の近く			④ 駅の近く
		ア 職場が区内			ア 自宅からの最寄り駅 () 駅
		イ 職場が区外			イ 職場(学校)からの最寄り駅 () 駅
					ウ その他 ()
2		⑤ 兄弟姉妹が通っている			⑥ 延長保育に対応している
		⑦ 夜間や休日保育に対応している			⑧ 乳児保育を実施している
		⑨ 病児や病後児の対応を行っている			⑩ 施設・設備が整っている
3		⑪ 送迎サービスを行っている			⑫ 給食を提供している
		⑬ 地域の評判がよい	5		⑭ 保育料が安い
		⑮ 行事が充実している			⑯ 園長・保育士・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい
4		⑰ 保育だけでなく、さまざまな教育プログラムを提供している			⑱ その他 ()

(案)

問 17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

	【事業】	【保育料】
1	幼稚園 通常の就園時間の利用	豊島区立幼稚園は1万円/月(お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて減免措置あり)、私立幼稚園は施設により異なります。
2	幼稚園の預かり保育 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	区立幼稚園は5千円/月、私立幼稚園は施設により異なります。
3	認可保育所 国が定める基準に適合した施設で、東京都の認可を受けた定員20人以上のもの	お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて決定されます。
4	認定こども園 幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設	お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて決定されます。
5	小規模保育施設 対象年齢0～3歳未満、豊島区が審査確認し認可施設として設置した定員6～19人の施設	お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて決定されます。
6	家庭的保育 対象年齢0～3歳未満、家庭的な雰囲気のもとで、5人以下の子どもを保育する事業	お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて決定されます。
7	事業所内保育施設 事業所の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもを一緒に保育する施設	各施設により異なります。
8	認証保育所 認可保育所ではないが、東京都が認証した施設	各施設により異なります(認可保育所との差額について補助あり)。
9	企業主導型保育 企業が従業員の働き方に応じて設置する保育施設や、地域の企業が共同で設置・利用する保育施設	各施設により異なります。
10	その他の認可外保育施設	各施設により異なります。
11	居宅訪問型保育 ベビーシッターのような保育者が子どもの自宅で保育する事業	お子さんの年齢や世帯の所得の状況に応じて決定されます。
12	ファミリー・サポート・センター ファミリー・サポート・センターに登録している地域住民が子どもを預かる事業	平日(7:00-19:00)が800円/1時間。
13	その他 ()	

◆問 17-1 は、問 17 で「1 幼稚園」または「2 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 3～13 のいずれかにも○をつけた方にうかがいます

問 17-1 1～13の事業の中で、特に幼稚園(預かり保育を合わせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

(案)

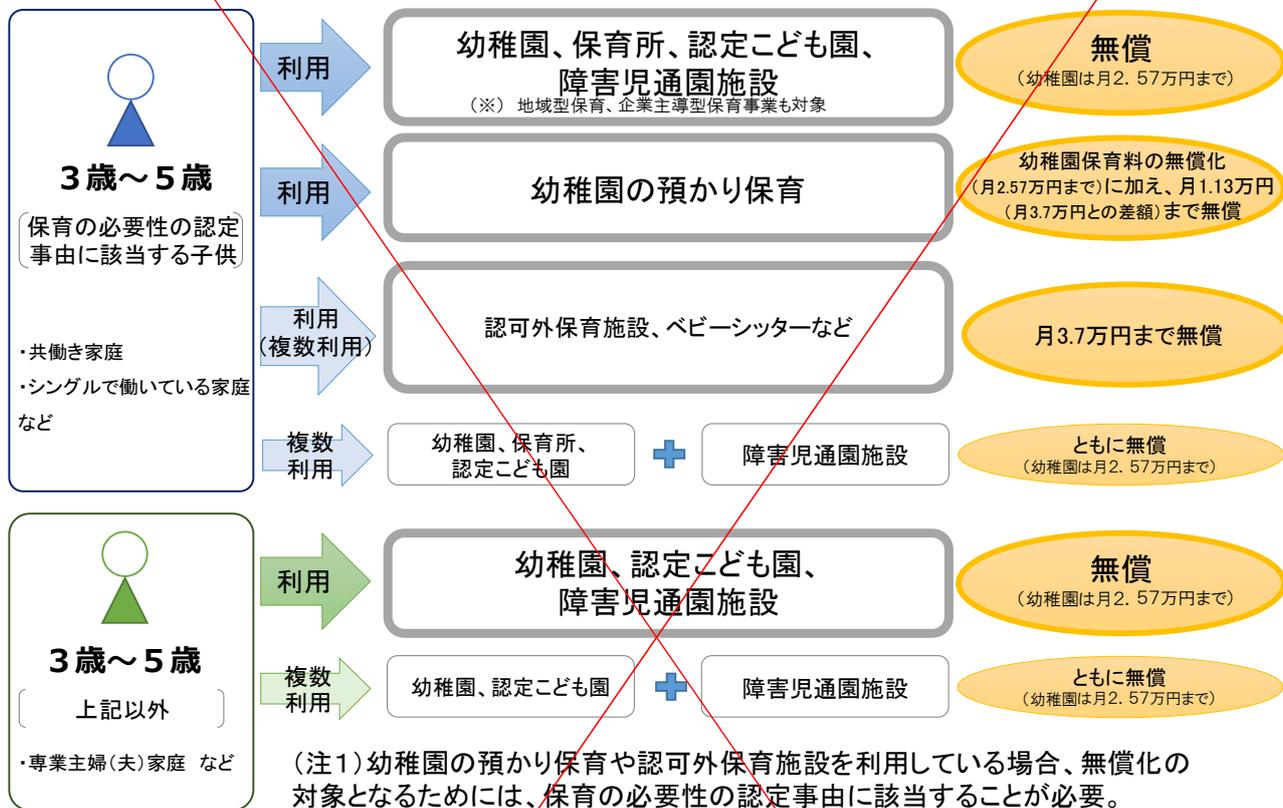
【すべての方にうかがいます】

子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ変えていくため、2019年10月から幼児教育・保育の無償化が開始されました。なお、無償化の範囲や上限額は、お子さんの年齢やご家庭の状況により異なります。

参考

～～幼児教育の無償化のイメージ～～

：内閣府資料（平成30年9月現在）より



住民税非課税世帯については、0歳～2歳児についても上記と同様の考え方により無償化の対象となる。この場合、月4,2万円まで無償。

(注2) 上記のうち認可外保育施設及びベビーシッターについては、認可外保育施設の届出をし、指導監督の基準を満たすものに限る(ただし、5年間の経過措置として、指導監督の基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする猶予期間を設ける)。

問18 無償化が実施された場合、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、あてはまるものをお答えください。無償化の前後で希望が変わらない場合は、問17で選択した番号をそのままお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1 幼稚園 | 8 認証保育所 |
| 2 幼稚園の預かり保育 | 9 企業主導型保育 |
| 3 認可保育所 | 10 その他の認可外保育施設 |
| 4 認定こども園 | 11 居宅訪問型保育 |
| 5 小規模保育施設 | 12 ファミリー・サポート・センター |
| 6 家庭的保育 | 13 その他() |
| 7 事業所内保育施設 | |

※各事業の詳細は、問17(9頁)の選択肢を参照してください。

(案)

保育所探しの状況についてうかがいます

問 19 あなたは、あて名のお子さんを預けるため、この1年間で保育所探しを行いましたか。(1つに○)

1 探した・探している

2 保育所探しはしていない(→問 19-2へ)

問 19-1 保育所探しの結果、どのようになりましたか。(1つに○)

1 認可保育所に入園した

9 幼稚園に入園した

2 認定こども園に入園した

10 保護者都合で保留している

3 小規模保育施設に入園した

(育休手当等)

4 家庭的保育を利用することになった

11 どこにも入れず、現在も探している

5 居宅訪問型保育を利用することにした

12 保育の利用はあきらめた

6 事業所内保育施設に入園した

13 結果待ち

7 認証保育所に入所した

14 その他()

8 認可外保育施設に入所した

◆問 19-2は、問 19で「2 保育所探しはしていない」とお答えの方についてうかがいます

問 19-2 保育所を探していない・探さなかった理由は何ですか。(1つに○)

1 必要がない

5 入園した幼稚園の預かり保育で十分

2 保育所の利用をあきらめている

6 入園した幼稚園を継続するつもり

3 これから探そうと思っている

7 その他()

4 子どもがまだ小さい

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況等についてうかがいます

問 20 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする事業)を利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を数字でご記入ください。

1 子ども家庭支援センターの親子遊び広場

1週あたり 回

もしくは1か月あたり 回程度

2 子育てひろば

1週あたり 回

もしくは1か月あたり 回程度

3 その他()

1週あたり 回

もしくは1か月あたり 回程度

4 利用していない



◎ 子ども家庭支援センターの親子遊び広場とは・・・

子ども家庭支援センター内に、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりすることができる部屋があります。豊島区では東部「とわむ」と西部「とむとむ」の2箇所があります。

◎ 子育てひろばとは・・・

区内各地区に開設されている区民ひろばや子育てひろば事業を行っている私立保育所などで専用のスペースを確保し、乳幼児や保護者が開館時間内はいつでも利用できるようにしています。手遊び、体操などの簡単なプログラムや、保育士等の職員による育児相談も実施しています。

(案)

問 21 問 20 のような地域子育て支援拠点事業について、利用日数を増やしたい、あるいは、今は利用していないが、できれば今後利用したいと思いますか。

また、おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（1つに○。また数字は一枠に一字。）

1	利用していないが、今後利用したい 1 週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1 か月あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 回
2	すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい 1 週あたり更に <input type="text"/> 回 もしくは 1 か月あたり更に <input type="text"/> <input type="text"/> 回
3	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

あて名のお子さんの土曜・日曜や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問 22 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（曜日ごとにそれぞれ 1 つに○。また数字は一枠に一字。）

※ 定期的な保育・教育事業とは、問 15-1（6 頁）に示す事業で幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

ア 土曜日	1	利用する必要はない	} 利用したい時間帯 (<input type="text"/>) 時～(<input type="text"/>) 時まで
	2	ほぼ毎週利用したい	
	3	月に 1～2 回は利用したい	
イ 日曜日・ 祝日	1	利用する必要はない	} 利用したい時間帯 (<input type="text"/>) 時～(<input type="text"/>) 時まで
	2	ほぼ毎週利用したい	
	3	月に 1～2 回は利用したい	

問 23 あて名のお子さんについて、年末・年始に、教育・保育の事業の利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（ア、イごとにそれぞれ 1 つに○。また数字は一枠に一字。）

ア 年末 (12/29～ 12/31)	1	利用する必要はない	} 利用したい時間帯 (<input type="text"/>) 時～(<input type="text"/>) 時まで
	2	ほぼ毎年利用したい	
	3	年によって利用したい	
イ 年始 (1/1～ 1/3)	1	利用する必要はない	} 利用したい時間帯 (<input type="text"/>) 時～(<input type="text"/>) 時まで
	2	ほぼ毎年利用したい	
	3	年によって利用したい	

◆ 問 24 は、問 15-1 で現在「幼稚園を利用されている」とお答えの方にはうかがいます

問 24 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（1つに○。また数字は一枠に一字。）

1	利用する必要はない	
2	休みの期間中ほぼ毎日利用したい	} 利用したい時間帯 (<input type="text"/>) 時～(<input type="text"/>) 時まで
3	休みの期間中週に数日利用したい	

(案)



あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます

◆問 25 は、平日の定期的な教育・保育事業(問 15 (6 頁))を「1 利用している」とお答えの方に
うかがいます

問 25 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、幼稚園や保育施設等を利用できなかったことは
ありますか。(1 つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 あった (→問 25-1 へ) | 2 なかった (→問 26 へ) |
|-------------------|------------------|

→問 25-1 どのように対処しましたか。⇒この 1 年間に対処した日数もご記入ください。(あてはまるものす
べてに○。また数字は一枠に一字)
※半日程度の対応も 1 日とカウントしてください。

1 父親が仕事を休んだ	} (→問 25-2 へ)	年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2 母親が仕事を休んだ		年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
3 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった		年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
4 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた		年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
5 病児・病後児の保育を利用した		年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
6 ベビーシッターを利用した		年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
7 ファミリー・サポート・センターを利用した		年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
9 その他 ()		年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日

→問 25-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。「1 .
できれば利用したい」と回答した方は、日数についてもご記入ください。
なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつ
け医の受診が必要となります。(ア、イごとにそれぞれ 1 つに○。また数字は一枠に一字)

ア 施設型(保育園や病院等で実施して いる病児・病後児保育)	1 できれば利用したい⇒	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
	2 利用したいとは思わない (→問 25-3 へ)			
イ 訪問型(ヘルパーや看護師による居 宅訪問型保育)	1 できれば利用したい⇒	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
	2 利用したいとは思わない (→問 25-3 へ)			

◎病児・病後児保育とは…

認可保育園等に通っている乳幼児が、病気や病気の回復期などで集団保育が適当でない時期に、専用施
設等で一時的に預かる事業。満 1 歳から就学前の子どもが対象。豊島区は、保育所併設型と医療機関併設
型、居宅訪問型があります。有料。

問 25-3 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安だから
2 施設の場所や利用可能時間、日数などの利便性がよくないから (施設型の場合)
3 自宅に来てもらうことに抵抗があるから (訪問型の場合)
4 利用料がかかる・高い
5 利用料がわからないから
6 親が仕事を休んで対応できるから
7 その他 ()

(案)

【すべての方にうかがいます】

問 26 豊島区の訪問型病児・病後児保育について知っていますか。(1つに○)

- 1 知っており、利用したことがある
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 知らない



◎ 訪問型病児・病後児保育とは・・・

認可保育施設等に在籍するお子さんが病気や病気の回復期などで登園できない時に、民間のベビーシッター事業者等がご自宅へ出向き、保育を実施する事業。利用料の一部を区が助成します。

あて名のお子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う 一時預かり等の利用についてうかがいます

問 27 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、親の通院、不規則の就労や私用、リフレッシュ等の目的で不規則に利用している事業はありますか。⇒ある場合は、あてはまる番号すべてに○をして、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字） (年間)

1 一時預かり (私用など、理由を問わず、保育所や子ども家庭支援センターなどで一時的に子どもを保育する事業)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不規則に利用する場合のみ)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
3 ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
4 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設などで休日・夜間に子どもを保護する事業)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
5 ベビーシッター	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
6 その他 ()	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
7 利用していない			

問 28 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字）

1 利用したい (計)	年間計	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
3 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
4 不規則の就労		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
5 その他 ()		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
6 利用する必要はない				

(案)

問 31 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。⇒あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字）

*かなり先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1	自宅	週に	<input type="text"/>	日くらい			
2	祖父母宅や友人・知人宅	週に	<input type="text"/>	日くらい			
3	習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）	週に	<input type="text"/>	日くらい			
4	子どもスキップ*	週に	<input type="text"/>	日くらい			
5	放課後子ども教室	週に	<input type="text"/>	日くらい			
6	学童クラブ	週に	<input type="text"/>	日くらい	⇒下校時から	<input type="text"/>	<input type="text"/> 時まで
7	区民ひろば	週に	<input type="text"/>	日くらい			
8	ファミリー・サポート・センター	週に	<input type="text"/>	日くらい			
9	その他（図書館、公園など）	週に	<input type="text"/>	日くらい			

*子どもスキップ内で実施している学童クラブを希望する場合は、6に回答

子育て全般についてうかがいます

問 32 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。（1つに○）

1	楽しいと感じることの方が多い	4	その他
2	楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい		
3	辛いと感じることの方が多い	5	わからない

問 33 あなたがお子さんの世話をする上で、祖父母や友人・知人による支援の状況は、次のどれにあてはまりますか。それぞれの項目ごとに1つだけ○をつけてください。（それぞれ1つに○）

ア 祖父母	1	日常的に支援してもらえる	3	支援はない
	2	緊急時には支援してもらえる		
イ 友人・知人	1	日常的に支援してもらえる	3	支援はない
	2	緊急時には支援してもらえる		

問 34 あなたは、子育てについて地域の方々からの支援があればよいと感じたことはありますか。（1つに○）

1	感じたことがある	2	感じたことはない	3	わからない
---	----------	---	----------	---	-------

問 35 あなたは、地域全体で子育てを支援していく“地域の子育て力”を向上させるためには、今後どのような取り組みを進めることが有効だと思いますか。（3つまでに○）

1	子どもを持つ人自身が主体的に行う情報交換や交流・活動など
2	企業や商店街が行うイベント開催や施設提供、優待事業など
3	NPOが行う情報提供、イベント開催、子育て支援サービスの提供など
4	ボランティアによるさまざまな子育て支援サービスの提供など
5	町内会・自治会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動など
6	隣近所の人子どもと顔見知りになり、声を掛け合う関係をつくるなど
7	専門家による助言や学習会開催、地域の子育てネットワークの構築支援など
8	その他（

(案)

問 36 あなたは近所に、会ったときにあいさつをする人が多い方だと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1 多い方だと思う | 2 少ない方だと思う | 3 まったくない |
|-----------|------------|----------|

問 37 あなたは、現在、町会や青少年育成委員会などの地域の子育て支援活動に参加されていますか。(1つに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 すでに参加している／参加したことがある |
| 2 参加していないが、将来、参加したい |
| 3 参加していないし、将来も参加しようとは思わない |

問 38 あなたは、保育所・学校の話し合い(たとえばPTAなど)に参加していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 参加している | 3 あまり参加していない |
| 2 ときどき参加している | 4 参加していない |

問 39 あなたの職場や地域など、あなたの周辺にあなたの話を聞いてくれる人はいますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

あなたご自身のことについてうかがいます

問 40 あなたは、自分が好きですか。(1つに○)

- | | | | |
|------|----------|-------------|----------|
| 1 好き | 2 だいたい好き | 3 あまり好きではない | 4 好きではない |
|------|----------|-------------|----------|

問 41 あなたは、自分が周りの人から大切にされていると感じますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 そう思う | 3 あまりそう思わない |
| 2 だいたいそう思う | 4 そう思わない |

問 42 育児に関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1 病気や発育に関すること | 7 気軽に相談できるところがわからないこと |
| 2 食事や栄養に関すること | 8 区の子育て支援事業などに関する情報が入手しにくいこと |
| 3 遊ばせ方やしつけに関すること | 9 その他() |
| 4 子育てが精神的負担になっていること | 10 特にな |
| 5 仕事と子育ての両立に関すること | |
| 6 経済的な負担に関すること | |

問 43 育児に関する不安や悩みをどなたに相談していますか。不安や悩みが特にない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|---|
| 1 配偶者(パートナー) | 9 子ども家庭支援センターの職員 |
| 2 兄弟姉妹 | 10 専門のカウンセラー(区の相談員など) |
| 3 親 | 11 育児書や雑誌・インターネットでの育児に関するホームページの相談コーナー等 |
| 4 隣近所の人 | 12 Twitter、フェイスブック、インスタグラムなどSNS上の友だち |
| 5 職場の人や友人・知人 | 13 その他() |
| 6 保育園の先生 | 14 誰にも相談しない |
| 7 塾や習い事の先生 | |
| 8 子どもスキップの職員 | |

(案)

問 44 区の子育て支援サービスについての情報を何によって入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 広報としま | 6 子ども家庭支援センター |
| 2 区のホームページ | 7 子育てひろば |
| 3 子育て情報ハンドブック | 8 保健所・健康相談所 |
| 4 母と子の保健ブック | 9 知人・友人 |
| 5 保育所・幼稚園 | 10 その他 () |

問 45 身近な地域で、育児に関する情報・相談の場があった場合、どのような場になってほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1 母親や父親同士が集い、情報交換できる |
| 2 子どもに遊びを教えたり、しつけを教えてくれる |
| 3 その場で専門職員に相談したり、情報を得ることができる |
| 4 家庭訪問して、相談にのってくれる |
| 5 夜間や日曜でも相談したり、情報を得ることができる |
| 6 電話やインターネットで相談したり、情報を得ることができる |
| 7 その他 () |

問 46 身近な場所で、子育てに関する情報・相談を気軽に受けられるとしたら、どこが最もよいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 保育園・幼稚園 | 4 子ども家庭支援センター |
| 2 保健所 | 5 区役所・区民事務所 |
| 3 区民ひろば(子育てひろば) | 6 その他 () |

問 47 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。(3つまでに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 子どもの病気や発育に関する情報 |
| 2 子どもの食事や栄養に関する情報 |
| 3 子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報 |
| 4 虐待防止に関する情報 |
| 5 医療機関に関する情報 |
| 6 子育てに関する相談窓口の情報 |
| 7 保育園、保育施設、幼稚園等に関する情報 |
| 8 音楽教室・体育教室などの習い事や塾の情報 |
| 9 小学校(区立、私立)に関する情報 |
| 10 中学校など子どもの進路や進学に関する情報 |
| 11 子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報 |
| 12 外出先のベビーベッドや授乳スペース、おむつ替えスペース等の情報 |
| 13 子育て支援に関する区の施策や事業等に関する情報 |
| 14 ベビーシッターやホームヘルパー等自宅での保育サービスに関する情報 |
| 15 子育てサークル等、親同士のネットワークに関する情報 |
| 16 駅や歩道橋等のエレベーター、エスカレーター設置に関する情報 |
| 17 その他 () |
| 18 特にない |



(案)

問48 子どもを連れて外出する際に、特に気にかかる点は何ですか。(3つまでに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 1 近所に公園や広場がない | 8 歩道の段差、陳列物、自転車などが通行の妨げになっている |
| 2 公園の遊具等が使いにくい | 9 緑や広い歩道が少ないなど、街並みにゆとりやうるおいがない |
| 3 おむつ替えや授乳ができる場所がない | 10 歩道を自転車がスピードを出して走行する |
| 4 街なかにベンチ等の休める場所や設備がない | 11 公園や歩道での歩きたばこが不安である |
| 5 雨の日に子どもを遊ばせる場所がない | 12 その他() |
| 6 公園に不審者がいる等、安全面で不安がある | |
| 7 歩道がない通りが多く、交通事故の心配がある | |

問49 あなたは、子どもに次のことをすることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 叩いたり殴ったりする | 4 世話をしなかったり、無視したりする |
| 2 心を傷つける言葉を言う | 5 子ども前で配偶者等に暴力をふるう |
| 3 性的なことをしたり、させたりする | 6 その他() |
| | 7 ない |

『子どもの権利条例』や豊島区のことについてうかがいます

問50 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 知っている | 3 知らない |
| 2 聞いたことがあるが内容はよく分からない | |

問50-1 どのように知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 広報としま | 4 学校の先生の話 |
| 2 パンフレット | 5 子どもの話 |
| 3 豊島区のホームページ | 6 その他() |

問51 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。(知っているものすべてに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 子どもの権利擁護委員 | 4 子どもの権利委員会 |
| 2 としま子ども月間 | 5 としま子どもの権利相談室 |
| 3 としま子ども会議 | 6 その他() |

問52 子育て支援に関する施策や事業について、どのようなことを望みますか。(5つまでに○)

- | |
|--|
| 1 母親や乳幼児の健康診査・予防接種等の母子健康事業の充実 |
| 2 休日・夜間診療などの小児医療体制の充実 |
| 3 子育て期の生活環境・住環境の整備 |
| 4 子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備 |
| 5 子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備 |
| 6 幼稚園・小中学校における教育内容や教育環境の充実 |
| 7 小学生、中高生が安心して過ごせる、子ども同士の交流・活動の場の整備 |
| 8 子育てに関する手当の充実や子育てにかかる経済的負担の軽減 |
| 9 在宅で子育てをしている家庭への支援サービスの充実 |
| 10 障害のある子どもや、ひとり親家庭などへの特に配慮を必要とする家庭への支援の充実 |
| 11 子育てに関する相談支援・情報提供・学習機会の充実 |
| 12 仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実 |
| 13 育児休業制度の拡充、労働時間の短縮など企業の子育て支援の取り組みの促進 |
| 14 家事・育児への男女共同参画の意識づくりの推進 |
| 15 子育て支援グループや地域団体などの活動支援、ネットワークづくりの推進 |
| 16 児童虐待やいじめなどの権利侵害に対する対応の強化 |
| 17 小中学生が、学校・スキップ・中高生センタージャンプ以外で安心して相談できる場と人の整備 |
| 18 子ども食堂、無料学習支援事業の充実 |
| 19 その他() |

(案)

問53 あなたは、豊島区の中での「子どもが育ち、子どもを育てていく環境」について、どのように感じますか。それぞれの項目ごとにお答えください。(ア～クそれぞれ1つに○)

	うそ う 思	うそ少 うし 思は	えとど ない もち いら	い思あ わま なり	い思 わ な	なわ い から
ア. 子どもの権利※ ¹ を保障する 取り組みが進んでいる	1	2	3	4	5	6
イ. 子どもの遊び場が充実している	1	2	3	4	5	6
ウ. 安心して子どもを産む環境づく りができている	1	2	3	4	5	6
エ. 職業生活と家庭生活を両立※ ² するための支援が行われている	1	2	3	4	5	6
オ. 子育てを視野にいたした住宅対策 や道路・施設整備が行われている	1	2	3	4	5	6
カ. 保育施設や幼稚園での保育・ 教育が充実している	1	2	3	4	5	6
キ. 学校教育が充実している	1	2	3	4	5	6
ク. 地域における子育て支援や見守 り活動が活発に行われている	1	2	3	4	5	6

※1. 1989年に子どもの権利条約が国際連合で採択され、日本は1994年に条約を批准しました。「生きる権利／育つ権利／守られる権利／参加する権利」が、子どもの権利の柱となっています。

※2. 「職業生活と家庭生活を両立」とは、仕事と私生活の両方を重要視する考え方で、ワーク・ライフ・バランスとも呼ばれています。

問54 あなたは、これからも豊島区に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1 住み続けたいと思う	4 住み続けたいと思わない
2 どちらかというに住み続けたいと思う	5 わからない
3 どちらかというに住み続けたいと思わない	

最後に、子育てに関して日頃お感じになっていることや悩みごと、あるいはお子さんを育てている上で気をつけていること、豊島区への要望事項等がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**11月16日（木）まで**にお近くのポストに投函してください。

豊島区子どもの実態・意識に関する調査

(調査ご協力をお願い)

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

豊島区では、子どもの健やかな成長や子育てを支える施策の推進のために、「豊島区子どもの権利に関する条例」の視点も加えた「豊島区子ども・若者総合計画」(令和2年～6年)を策定しました。本計画が来年度期間満了を迎えることに伴い、計画改定の基礎資料とさせていただくため、区民の皆様の子育てに関する生活実態やニーズについて調査を実施いたします。この調査は、住民基本台帳に登録されている小学生のお子さん(令和5年4月1日現在6歳～11歳)の中から、無作為に1,500名の方を選びその保護者の方に回答をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、今後の本区の施策を進めていくための基礎資料にのみ使用し、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

令和5年11月 豊島区子ども家庭部子ども若者課



【記入にあたってのお願い】

1. 封筒のあて名のお子さんについて、お答えください。
2. このアンケートは保護者の方がお答えください。「あなた」とは、アンケートに回答される方を表します。
3. 回答は、あてはまる選択肢に○をつけるものと、枠内に記入するものがあります。また、設問によって○をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
4. ご記入いただいたアンケートは**令和5年11月16日(木)まで**に同封の返信用封筒に入れて、お近くのポストに投函してください。切手は不要です。

調査についてのお問い合わせ先

《調査の趣旨》

豊島区 子ども家庭部 子ども若者課 管理グループ

電話：03-4566-2471



※英語・中国語・韓国語の調査票を希望される方は、区役所の子ども若者課の窓口に取りに来てください。

*For those who would like an English, Chinese or Korean questionnaire, please come to the Children and Youth Section at the City Office.

※如希望使用英文、中文或韩文版的调查表，请前往区政府的孩子・年轻人课窗口索取。

※영어·중국어·한국어 조사표를 희망하시는 분은, 구청 어린이·젊은이과 창구에서 받아가시기 바랍니다.

(案)

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問 1 あて名のお子さんは何年生ですか。() 内に数字でご記入ください。

小学 () 年生



問 2 あて名のお子さんの性別をご記入ください。

問 3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1 母親 2 父親 3 その他 ()

問 4 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1 父母ともに 3 主に父親 5 その他
2 主に母親 4 主に祖父母 ()

問 5 あて名のお子さんの同居している家族は何人ですか。なお、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなして合計人数を書いてください。

人(あて名のお子さんを含めて)

問 6 あて名のお子さんが通学している小学校の種類はどれにあたりますか。(1つに○)

1 豊島区立の小学校 3 私立小学校・国立小学校 5 その他 ()
2 豊島区外の区立小学校 4 特別支援学校

問 7 あて名のお子さんは何人兄弟・姉妹ですか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。(1つに○)

1 1人 2 2人 3 3人 4 4人以上

問 8 あて名のお子さんと同居されているご家族と、近くに住んでいらっしゃる方の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください(続柄はあて名のお子さんからみた関係)。

なお、父親または母親が単身赴任の場合は、その他に○をつけ、単身赴任している方がだれかをご記入ください。また、玄関は別でも隣接する2戸や2世帯住宅の場合は、同居とみなしてください。「近く」とはおおむね30分以内で行き来できる範囲のこと

1 父母同居 4 祖父同居 7 祖父のみ近くに居住
2 父親同居(ひとり親家庭) 5 祖母同居 8 祖母のみ近くに居住
3 母親同居(ひとり親家庭) 6 祖父母が近くに居住 9 その他 ()

(案)

問 9 お住まいのまちはどこですか。(1つに○)

1 駒込	7 東池袋	13 高田	19 要町
2 巣鴨	8 南池袋	14 目白(1・2丁目)	20 高松
3 西巣鴨	9 西池袋	15 目白(3～5丁目)	21 千川
4 北大塚	10 池袋	16 南長崎	
5 南大塚	11 池袋本町	17 長崎	
6 上池袋	12 雑司が谷	18 千早	

問 10 豊島区に、通算何年お住まいですか。(1つに○)

1 1年未満	3 6年～10年	5 16年～20年
2 1年～5年	4 11年～15年	6 21年以上

問 11 豊島区にお住まいになるようになったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 親(または配偶者の親)の代からずっと	5 本人(または配偶者)の通勤に便利
2 親(または配偶者の親)の介護等のため	6 子どもの通学に便利
3 保育所や幼稚園等、子育ての環境がよい	7 山手線や地下鉄等に近く何かと便利
4 小学校等の教育環境がよい	8 その他()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

この項目に出てくる「フルタイム」「パート・アルバイト等」とは・・・

- フルタイム = 1週5日程度・1日8時間程度の就労
- パート・アルバイト等 = フルタイム以外の就労



問 12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

項目	それぞれ1つに○	
	母親※	父親※
1 フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
3 パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4 パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6 これまで就労したことがない	6	6

※「母親」の欄は父子家庭の場合、記入は不要です。また「父親」の欄は母子家庭の場合、記入は不要です。

※保護者が「自営業、家族従事者」の場合は、従事している平均的な就業時間で「フルタイム」か「パート・アルバイト等」のいずれかを判断して該当欄に記入してください。



※以下、問 12-5 まで「自営業、家族従事者」の場合は、設問中の用語の「就労」を「就業」とみなしてお答えください。また、平均的な「就業時間」より「フルタイム」か「パート・アルバイト等」のいずれかを判断して該当欄に記入してください。

(案)

◆問 12-1 は、問 12 の「母親」または「父親」で「1」～「4」（就労している）とお答えの方にうかがいます

問 12-1 週のおおよその就労日数、家を出る時間と家に着く時間、土曜日や日曜日・祝祭日の就労状況、通勤時間についてご記入ください。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【母親】（父子家庭の場合、記入は不要です）

※時間の記入については、24 時間制（例：午後 5 時⇒**17 時**）で記入してください。

ア 1 週あたり平均就労日数	<input type="text"/>	日						
イ 1 日あたり平均就労時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間					
ウ 家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	※24 時間制で記入
エ 土曜日の就労	1	毎週休み	2	月に	<input type="text"/>	日就労		
オ 日曜日・祝祭日の就労	1	すべて休み	2	時々就労	3	ほとんど就労		
カ 通勤時間（片道）	1	なし	4	30 分～1 時間未満				
	2	15 分未満	5	1 時間～1 時間 30 分未満				
	3	15 分～30 分未満	6	1 時間 30 分以上				

【父親】（母子家庭の場合、記入は不要です）

※時間の記入については、24 時間制（例：午後 5 時⇒**17 時**）で記入してください。

ア 1 週あたり平均就労日数	<input type="text"/>	日						
イ 1 日あたり平均就労時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間					
ウ 家を出る時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	帰宅時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	※24 時間制で記入
エ 土曜日の就労	1	毎週休み	2	月に	<input type="text"/>	日就労		
オ 日曜日・祝祭日の就労	1	すべて休み	2	時々就労	3	ほとんど就労		
カ 通勤時間（片道）	1	なし	4	30 分～1 時間未満				
	2	15 分未満	5	1 時間～1 時間 30 分未満				
	3	15 分～30 分未満	6	1 時間 30 分以上				

◆問 12-2 は、問 12 の「母親」または「父親」で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」とお答えの方にうかがいます

問 12-2 その方（主にお子さんの身の回りの世話をしている方）が仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。（1つに○）

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 家事や育児の負担が大きくなったから |
| 2 | 自分で子どもの保育をした方がよいと思ったから |
| 3 | 配偶者の転勤や住宅の購入等による転居などのため |
| 4 | 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られないため |
| 5 | 勤務先において子育てしながら働き続けられる環境が整っていなかったから |
| 6 | その他（ <input type="text"/> ） |

(案)

◆問 12-3 は、問 12 の「母親」または「父親」で、「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労）とお答えの方にかがいます

問 12-3 フルタイムへの転換希望はありますか。

項 目	それぞれ1つに○	
	母親	父親
1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3 パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

◆問 12-4 は、問 12 の「母親」または「父親」で、「5」または「6」（就労していない）とお答えの方にかがいます

問 12-4 就労したいという希望はありますか。

【母親】（就労希望と希望する就労形態それぞれ1つに○）

1	子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2	1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になった頃に就労したい
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
⇒希望する 就労形態	ア フルタイム イ パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外） ⇒1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間

【父親】（就労希望と希望する就労形態それぞれ1つに○）

1	子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2	1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になった頃に就労したい
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
⇒希望する 就労形態	ア フルタイム イ パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外） ⇒1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間

◆問 12-5 は、問 12-4 の「母親」または「父親」で、「2」または「3」とお答えの方にかがいます

問 12-5 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

項 目	それぞれ1つに○	
	母親	父親
1 保育園や学童クラブなどの保育サービスが受けられないため	1	1
2 子育てしながら働ける適当な仕事がないため	2	2
3 自分の知識や能力に合う仕事がないため	3	3
4 子どもを預けて働くことへの家族の理解が得られないため	4	4
5 その他（具体的に <input type="text"/> ）	5	5

(案)



あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

◎ 子どもスキップとは・・・

小学校施設[教室・体育館・校庭]等を活用して、全児童を対象とする育成事業と学童クラブを総合的に展開し、自主的な参加のもとに遊びを通して子どもたちが交流を広げる事業です。

「子どもスキップ」では、「学童クラブ登録児童」と学童クラブ登録児童以外の「一般児童」が交流することも目的のひとつになっています。

◎ 学童クラブとは・・・

保護者が就労等により放課後家庭にいない場合などに、放課後児童支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

◎ 放課後子ども教室とは・・・

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や区民ひろばで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験してもらう取り組みです。子どもスキップに利用の届出をしている小学生（区内在住、または当該小学校に在学の小学生）が利用できます。

子どもスキップ

一般児童(1年生～6年生)

学童クラブ登録児童

◆ 問 13 は、あて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方にうかがいます

問 13 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、小学校低学年のうち、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。
あてはまるものすべてを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

過ごし方	週あたりの利用日数	
	現在	希望
1 自宅	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
3 習い事（各種音楽教室、各種スポーツクラブ、学習塾など）	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
4 子どもスキップ*	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
5 放課後子ども教室	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
6 学童クラブ	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
7 区民ひろば	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
8 ファミリー・サポート・センター	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
9 その他（図書館、公園など）	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい

※子どもスキップ内で実施している学童クラブの利用については、6に回答



(案)

【すべての方にうかがいます】

問 14 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のとき、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

◎あて名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）の方は利用状況（現在）と希望について

◎あて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方は高学年になった時の希望について

あてはまるものすべてを選択し、それぞれ希望する週あたりの日数を数字でご記入ください。

過ごし方	週あたりの利用日数	
	現在	希望
1 自宅	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
3 習い事（各種音楽教室 各種クラブ、学習塾など）	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
4 子どもスキップ*	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
5 放課後子ども教室	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
6 学童クラブ	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
7 区民ひろば	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
8 ファミリー・サポート・センター	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい
9 その他（図書館、公園など）	<input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> 日くらい

※子どもスキップ内で実施している学童クラブの利用については、6に回答

◆問 15 は、問 13・問 14 で「6 学童クラブ」を現在利用している方と利用希望がある方にうかがいます

問 15 学童クラブの利用時間について、「現在の利用時間」をお書きください。「利用時間の希望」については「1」か「2」のいずれかに○をつけ、「2」の場合は利用希望の時間をお書きください。

現在の 利用時間	学校がある平日 下校時から <input type="text"/> 時頃まで		
	土曜日 <input type="text"/> 時頃から <input type="text"/> 時頃まで		
利用時間 の希望	1 現在の ままでよい	2 希望の 時間がある	学校がある平日 下校時から <input type="text"/> 時頃まで
			土曜日 <input type="text"/> 時頃から <input type="text"/> 時頃まで
			学校が休みの日 <input type="text"/> 時頃から <input type="text"/> 時頃まで

◆問 16 は、問 13（小学校1～3年生）で「6 学童クラブ」の利用実績がない方にうかがいます

問 16 利用していない理由は何ですか。主にお子さんの身の回りの世話をしている方の状況から、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1	現在、就労していないから
2	塾や習い事が多くなり、時間の余裕がなくなった
3	利用時間が希望と合わない
4	学童クラブまでの距離が遠く、子どもでは通いきれない
5	以前は利用していたが、子どもが自立したので必要なくなった
6	申請はしたが、希望者が多かったため利用できなかった
7	その他（ <input type="text"/> ）

(案)



あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます

問 17 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがありましたか。
(1つに○)

1 あった

2 なかった (→問 18 へ)

問17-1 どのように対処しましたか。⇒この1年間に対処した日数もご記入ください。(あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字)
※半日程度の対応も1日とカウントしてください。

1	父親が仕事を休んだ	年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2	母親が仕事を休んだ	年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
3	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
4	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
5	ベビーシッターを利用した	年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
6	ファミリー・サポート・センターを利用した	年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
7	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
8	その他 ()	年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日

あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問18 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。⇒あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの泊数もご記入ください。(あてはまるものすべてに○。また数字は一枠に一字)

1 あった

2 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

泊

3 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した
(児童養護施設等で一定期間、子どもを養育する事業)

泊

4 その他の保育サービス(ベビーシッター等)を利用した

泊

5 仕方なく子どもを同行させた

泊

6 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

泊

7 その他 ()

泊

8 なかった

問19 豊島区の宿泊を伴う「子どもショートステイ事業(短期預かり)」を知っていますか。(1つに○)

1 知っており、利用したことがある

3 知らない

2 知っているが、利用したことはない

◎子どもショートステイ事業とは・・・

保護者が病気等で一時的に子どもの面倒を見ることができないとき、豊島区の委託する児童養護施設等で子どもを預かる事業。有料。

(案)

子育て全般についてうかがいます

問 20 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。
(1つに○)

- | | | |
|---|--------------------------|---|
| 1 | 楽しいと感じることの方が多い | |
| 2 | 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい | |
| 3 | 辛いと感じることの方が多い | |
| 4 | その他 (|) |
| 5 | わからない | |

問 21 あなたがお子さんの世話をする上で、祖父母や友人・知人による支援の状況は、次のどれにあてはまりますか。それぞれの項目ごとに1つだけ○をつけてください。(それぞれ1つに○)

ア 祖父母	1	日常的に支援してもらえる	3	支援はない
	2	緊急時には支援してもらえる		
イ 友人・知人	1	日常的に支援してもらえる	3	支援はない
	2	緊急時には支援してもらえる		

問 22 あなたは、子育てについて地域の方々からの支援があればよいと感じたことはありますか。(1つに○)

- | | | | | | |
|---|----------|---|----------|---|-------|
| 1 | 感じたことがある | 2 | 感じたことはない | 3 | わからない |
|---|----------|---|----------|---|-------|

問 23 あなたは、地域全体で子育てを支援していく“地域の子育て力”を向上させるためには、今後どのような取り組みを進めることが有効だと思いますか。(3つまでに○)

- | | | |
|---|------------------------------------|---|
| 1 | 子どもを持つ人自身が行う情報交換や交流・活動など | |
| 2 | 企業や商店街が行うイベント開催や施設提供、優待事業など | |
| 3 | NPOが行う情報提供、イベント開催、子育て支援サービスの提供など | |
| 4 | ボランティアによるさまざまな子育て支援サービスの提供など | |
| 5 | 町内会・自治会等によるお祭りやイベント開催、防犯活動など | |
| 6 | 隣近所の人と顔見知りになり、声を掛け合う関係をつくるなど | |
| 7 | 専門家による助言や学習会開催、地域の子育てネットワークの構築支援など | |
| 8 | その他 (|) |

問 24 あなたは近所に、会ったときにあいさつをする人が多い方だと思いますか。(1つに○)

- | | | | | | |
|---|---------|---|----------|---|---------|
| 1 | 多い方だと思う | 2 | 少ない方だと思う | 3 | まったくいない |
|---|---------|---|----------|---|---------|

問 25 あなたは、現在、町会や青少年育成委員会などの地域の子育て支援活動に参加されていますか。
(1つに○)

- | | | |
|---|-------------------------|--|
| 1 | すでに参加している／参加したことがある | |
| 2 | 参加していないが、将来、参加したい | |
| 3 | 参加していないし、将来も参加しようとは思わない | |

(案)

問 26 あなたは、保育所・学校の話し合い（たとえば PTA など）に参加していますか。（1つに○）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 参加している | 3 あまり参加していない |
| 2 ときどき参加している | 4 参加していない |

問 27 あなたの職場や地域など、あなたの周辺にあなたの話を聞いてくれる人はいますか。（1つに○）

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

あなたご自身のことについてうかがいます

問 28 あなたは、自分が好きですか。（1つに○）

- | | | | |
|------|----------|-------------|----------|
| 1 好き | 2 だいたい好き | 3 あまり好きではない | 4 好きではない |
|------|----------|-------------|----------|

問 29 あなたは、自分が周りの人から大切にされていると感じますか。（1つに○）

- | | |
|------------|-------------|
| 1 そう思う | 3 あまりそう思わない |
| 2 だいたいそう思う | 4 そう思わない |

問 30 子育てに関して、特に不安なことや悩んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1 病気や発育に関すること | 9 仕事と子育ての両立に関すること |
| 2 食事や栄養に関すること | 10 教育費のこと |
| 3 遊ばせ方やしつけに関すること | 11 気軽に相談できるところがわからないこと |
| 4 学習態度や成績のこと | 12 区の子育て支援事業などに関する情報が入手しにくいこと |
| 5 進学のこと | 13 その他（ ） |
| 6 あいさつ・服装など生活態度のこと | 14 特にない |
| 7 思春期の子どもの性的関心への対処のこと | |
| 8 子育てが精神的負担になっていること | |

問 31 子育てに関する不安や悩みをどなたに相談していますか。不安や悩みが特にない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------|---|
| 1 配偶者（パートナー） | 9 子ども家庭支援センターの職員 |
| 2 兄弟姉妹 | 10 専門のカウンセラー（区の相談員など） |
| 3 親 | 11 育児書や雑誌・インターネットでの育児に関するホームページの相談コーナー等 |
| 4 隣近所の人 | 12 Twitter、フェイスブック、インスタグラムなど SNS 上の友だち |
| 5 職場の人や友人・知人 | 13 その他（ ） |
| 6 小学校の先生 | 14 誰にも相談しない |
| 7 塾や習い事の先生 | |
| 8 子どもスキップの職員 | |

(案)

問 32 次の 1～10 のような豊島区の子どもの相談を受けてくれるところのうち、知っているところ、利用したことのあるところがありますか。知っているところがない、利用したことがない場合は、それぞれ 11 に○をつけてください。(それぞれあてはまるものすべてに○)

	知っている	利用したことがある
1 子ども若者総合相談（アシスとしま）※	1	1
2 教育センター	2	2
3 青少年相談	3	3
4 子どもの権利擁護委員※	4	4
5 子どもからの専用電話相談（フリーダイヤル）※	5	
6 子ども家庭支援センター	6	6
7 スクールカウンセラー	7	7
8 児童相談所	8	8
9 人権擁護委員の電話相談	9	9
10 チャイルドライン	10	10
11 知っているところはない、利用したことはない	11	11

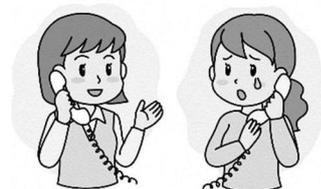
- ※子ども若者総合相談（アシスとしま）… 様々な生きづらさを抱える子ども若者やその家族からの相談を受け付け、必要に応じて専門機関と連携しながら、相談者一人ひとりに合わせた支援を行う。平成 30 年 7 月にオープン、豊島区役所本庁舎 4 階子ども若者課内に設置
- ※子どもの権利擁護委員…………… 子どもの権利侵害について、迅速かつ適切に対応し、救済を図り、回復を支援するため、区長の附属機関として豊島区子どもの権利擁護委員（弁護士）を設置
- ※子どもからの専用電話相談…………… 友だちや家族のことなど心配なことがあったら何でも相談できる電話相談（0120-618-471(フリーダイヤル)）

問 33 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、問 32 のような相談機関を利用したいと思いますか。（1つに○）

1 利用したい	2 利用したくない（→問 33-1 へ）
---------	----------------------

→ 問 33-1 利用したくないと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|------------------------|
| 1 自分（または家族）のことを知られたくない |
| 2 相談しても解決できないと思う |
| 3 何をきかれるか不安に思う |
| 4 相手にうまく話せないと思う |
| 5 相談に行ったことを人に知られたくない |
| 6 お金がかかると思う |
| 7 相談機関が近くにない |
| 8 その他（ |



(案)

【すべての方にうかがいます】

問 34 区の子育て支援サービスについての情報を何によって入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 広報としま | 6 子育てひろば |
| 2 区のホームページ | 7 保健所・健康相談所 |
| 3 子育て情報ハンドブック | 8 知人・友人 |
| 4 学校 | 9 その他 () |
| 5 子ども家庭支援センター | |

問 35 身近な地域で、育児に関する情報・相談の場があった場合、どのような場になってほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1 母親や父親同士が集い、情報交換できる |
| 2 子どもに遊びを教えたり、しつけを教えてくれる |
| 3 その場で専門職員に相談したり、情報を得ることができる |
| 4 家庭訪問して、相談にのってくれる |
| 5 夜間や日曜でも相談したり、情報を得ることができる |
| 6 電話やインターネットで相談したり、情報を得ることができる |
| 7 その他 () |

問 36 身近な場所で、子育てに関する情報・相談を気軽に受けられるとしたら、どこが最もよいと思いますか。
(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 小学校 | 4 子ども家庭支援センター |
| 2 保健所 | 5 区役所・区民事務所 |
| 3 区民ひろば・子どもスキップ | 6 その他 () |

問 37 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。(3つまでに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 子どもの病気や発育に関する情報 |
| 2 子どもの食事や栄養に関する情報 |
| 3 子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報 |
| 4 虐待防止に関する情報 |
| 5 医療機関に関する情報 |
| 6 子育てに関する相談窓口の情報 |
| 7 保育所、保育施設、幼稚園等に関する情報 |
| 8 音楽教室・体育教室などの習い事や塾の情報 |
| 9 小学校(区立、私立)に関する情報 |
| 10 中学校など子どもの進路や進学に関する情報 |
| 11 子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報 |
| 12 外出先のベビーベッドや授乳スペース、おむつ替えスペース等の情報 |
| 13 子育て支援に関する区の施策や事業等に関する情報 |
| 14 ベビーシッターやホームヘルパー等自宅での保育サービスに関する情報 |
| 15 子育てサークル等、親同士のネットワークに関する情報 |
| 16 駅や歩道橋等のエレベーター、エスカレーター設置に関する情報 |
| 17 その他 () |
| 18 特にない |

(案)

問 38 子どもを連れて外出する際に、特に気にかかる点は何ですか。(3つまでに○)

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | 近所に公園や広場がない |
| 2 | 公園の遊具等が使いにくい |
| 3 | おむつ替えや授乳ができる場所がない |
| 4 | 街なかにベンチ等の休める場所や設備がない |
| 5 | 雨の日に子どもを遊ばせる場所がない |
| 6 | 公園に不審者がいる等、安全面で不安がある |
| 7 | 歩道がない通りが多く、交通事故の心配がある |
| 8 | 歩道の段差、陳列物、自転車などが通行の妨げになっている |
| 9 | 緑や広い歩道が少ないなど、街並みにゆとりやうらおいがない |
| 10 | 歩道を自転車がスピードを出して走行する |
| 11 | 公園や歩道での歩きたばこが不安である |
| 12 | その他 () |

あて名のお子さんのことについてうかがいます

問 39 あなたは、ふだん家で子どもの話を聞いていますか。(1つに○)

- | | | | |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 聞いている | 3 | あまり聞いていない |
| 2 | ときどき聞いている | 4 | 聞いていない |

問 40 あなたは、家で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。(1つに○)

- | | | | |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 聞いている | 3 | あまり聞いていない |
| 2 | ときどき聞いている | 4 | 聞いていない |

問 41 あなたは、子どものことをわかっていると思いますか。(1つに○)

- | | | | |
|---|------------|---|-----------|
| 1 | わかっている | 3 | あまりわかっている |
| 2 | だいたいわかっている | 4 | わかっている |

問 42 あて名のお子さんには、地域に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいますか。(1つに○)

- | | | | |
|---|-------|---|---------|
| 1 | いると思う | 2 | いると思わない |
|---|-------|---|---------|

問 43 あて名のお子さんには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。(1つに○)

- | | | | |
|---|-----------|---|----------|
| 1 | あると思う | 3 | あまりないと思う |
| 2 | ときどきあると思う | 4 | ないと思う |

問 44 あて名のお子さんには、地域に、遊んだりスポーツをしたり自分が好きなことをする場所があると思いますか。(1つに○)

- | | | | |
|---|-------|---|---------|
| 1 | あると思う | 2 | あると思わない |
|---|-------|---|---------|

(案)

問 45 あて名のお子さんにとってホッとできる場所はどこだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 自分の部屋 | 8 区の図書館や区民ひろば |
| 2 自宅のリビング・居間 | 9 子どもスキップ |
| 3 友だちの家 | 10 子ども食堂 |
| 4 学校(教室、校庭、体育館、
図書室など) | 11 ゲームセンター、カラオケボックス、ネット
カフェ、マンガ喫茶、ファーストフード
店、ファミレス、コンビニ |
| 5 クラブ活動・部活動の場所 | 12 その他 |
| 6 塾や習い事の教室(音楽・スポーツ含む) | () |
| 7 近所の公園、グラウンド、プレーパーク | |

問 46 あて名のお子さんには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいると思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------|----------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない |
|--------|----------|

問 47 あて名のおさんは、自分が親や周りのおとな、友だちから大切にされていると感じていると思いますか。(1つに○)

- | | | | |
|--------|------------|-------------|----------|
| 1 そう思う | 2 だいたいそう思う | 3 あまりそう思わない | 4 そう思わない |
|--------|------------|-------------|----------|

問 48 あて名のおさんは、自分のことが好きだと思っていると、思いますか。(1つに○)

- | | | | |
|------|----------|-------------|----------|
| 1 好き | 2 だいたい好き | 3 あまり好きではない | 4 好きではない |
|------|----------|-------------|----------|

問 49 あて名のおさんは、自分が友だちや親など周りの人の役に立っていると思っていると、思いますか。(1つに○)

- | | | | |
|--------|------------|-------------|----------|
| 1 そう思う | 2 だいたいそう思う | 3 あまりそう思わない | 4 そう思わない |
|--------|------------|-------------|----------|

問 50 あなたは、子どもがおとな(保護者や先生、スポーツの監督など)から次のことをされたことに最近気づいたり聞いたりしますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1 叩かれたり殴られたりする | 5 家族で起こるけんかをみて、
いやな思いをした |
| 2 心を傷つける言葉を言われる | 6 その他
() |
| 3 性的に嫌なことをされたり、
させられたりする | 7 ない |
| 4 世話をしてもらえなかったり、
無視されたりする | |

問 51 あなたは、最近、子どものいじめ(いじめられる・いじめているの両方を含む)に気づいたことがありますか。(1つに○)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問 52 あなたは、子どもに次のことをすることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 叩いたり殴ったりする | 4 世話をしなかったり、無視したりする |
| 2 心を傷つける言葉を言う | 5 子ども前で配偶者等に暴力をふるう |
| 3 性的なことをしたり、
させたりする | 6 その他() |
| | 7 ない |

(案)

『子どもの権利条例』や豊島区の施策についてうかがいます

問 53 『豊島区子どもの権利に関する条例』を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 知っている | 3 知らない |
| 2 聞いたことがあるが内容はよく分からない | |

→ 問 53-1 どのように知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 広報としま | 4 学校の先生の話 |
| 2 パンフレット | 5 子どもの話 |
| 3 豊島区のホームページ | 6 その他 () |

【すべての方にうかがいます】

問 54 豊島区が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。(知っているものすべてに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 子どもの権利擁護委員 | 3 子どもの権利委員会 |
| 2 としま子ども月間 | 4 その他 () |

問 55 子育て支援に関する施策や事業について、どのようなことを望みますか。(5つまでに○)

- | |
|--|
| 1 母親や乳幼児の健康診査・予防接種等の母子健康事業の充実 |
| 2 休日・夜間診療などの小児医療体制の充実 |
| 3 子育て期の生活環境・住環境の整備 |
| 4 子どもが安心して遊べる公園等の屋外遊び場の整備 |
| 5 子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備 |
| 6 幼稚園・小中学校における教育内容や教育環境の充実 |
| 7 小学生、中高生が安心して過ごせる、子ども同士の交流・活動の場の整備 |
| 8 子育てに関する手当の充実や子育てにかかる経済的負担の軽減 |
| 9 在宅で子育てをしている家庭への支援サービスの充実 |
| 10 障害のある子どもや、ひとり親家庭などへの特に配慮を必要とする家庭への支援の充実 |
| 11 子育てに関する相談支援・情報提供・学習機会の充実 |
| 12 仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実 |
| 13 育児休業制度の拡充、労働時間の短縮など企業の子育て支援の取り組みの促進 |
| 14 家事・育児への男女共同参画の意識づくりの推進 |
| 15 子育て支援グループや地域団体などの活動支援、ネットワークづくりの推進 |
| 16 児童虐待やいじめなどの権利侵害に対する対応の強化 |
| 17 小中学生が、学校・スキップ・中高生センタージャンプ以外で安心して相談できる場と人の整備 |
| 18 子ども食堂、無料学習支援事業の充実 |
| 19 その他 () |

としま子どもの権利相談室の開設について

1. としま子どもの権利相談室の概要

- 「豊島区子どもの権利に関する条例」を踏まえ、子どもの権利を保障するため、子どもの権利侵害に関する相談に応じるための窓口として「としま子どもの権利相談室」を設置する。
- 相談室では、子どもの権利相談員が子どもからの声や SOS を受け、権利侵害にかかる相談を第三者機関となる子どもの権利擁護委員につなげることで、権利を侵害された子どもの迅速かつ適切な救済を図る。
- 権利侵害にかかる適切な相談につなげていくため、子どもや子どもに関わる大人が子どもの権利について、正しく理解できるよう、「豊島区子どもの権利に関する条例」の趣旨や子どもの権利の普及啓発を図る。

(1) 体制

子どもの権利擁護委員	3名（弁護士2、臨床心理士1）
子どもの権利相談員（会計年度任用職員）	2名
事務局（正規職員）	3名（専任1、兼務2）

<子どもの権利擁護委員>

豊島区子どもの権利に関する条例第22条により設置される区長の附属機関（第三者機関）
<p>（子どもの権利擁護委員の職務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利侵害について相談に応じ、子どもの権利の救済及び回復ための助言や支援すること。 ・子どもの権利侵害に関する救済の申立てを受け、必要な調査や関係者間の調整すること。 ・必要と認めるときに、是正要請をすること。

(2) 拠点施設



- ①千登世橋教育文化センター1階
教育センター内（豊島区雑司が谷3-1-7）

②面積：66.43㎡

- (3) 開設時期：令和5年9月6日
- (4) 開設時間：火曜～土曜日 10時～17時45分（祝日、年末年始除く）

2. 相談業務

(1) 相談室の基本姿勢

子どもの意見を聞き、子どもの気持ちに寄り添いながら、子ども自身が本来持っている力を十分発揮できるよう問題解決に向けた支援を行う。

(2) 相談内容

特定な分野に限らない子どもの権利侵害全般（例：いじめ、体罰、虐待など）

(3) 主な相談対象

区内在住、在学、在勤の概ね18歳未満の子ども

※子どもの権利侵害に関わる相談であれば、大人からの相談も可

(4) 相談方法

対面、電話、メール、手紙、FAX

(5) アウトリーチ（巡回相談）の実施

相談員が、スキップ、中高生ジャンプ、児童相談所（一時保護所）等、子どもの身近な施設に定期的に訪問し、子どもとの関係性を構築することで、子どもからの相談へつなげる。

3. 相談から救済までの流れ

- ・相談員が子どもや子どもに関わる大人から相談を受け、子どもの権利擁護委員と連携しながら、内容に応じて関係機関等との調整を行う。
- ・子どもの権利侵害に関する救済の申立てがあった場合には、子どもの権利擁護委員が権利侵害に関わるか審議し、調査や関係機関等との調整を行い、必要に応じて是正要請を行うことができる。

【としま子どもの権利相談室の仕組み】

